

温水洗浄便座

クリーンシャワレ

保証書別添

品番

CH6311(脱臭機能なし)
CH6312(脱臭機能付)

取扱説明書



● ● ● 目 次 ● ● ●

安全上のご注意	1
各部のなまえと付属部品	3

取り付けかた

取り付け前の準備	5
取り付けの手順	6
施工・取り付け	7

使いかた

お使いになる前に	15
使いかた	17

お手入れのしかた

日常/週一回	22
月一回程度	23

こんなときは

長期間使用しないとき	26
凍結のおそれがあるとき	27
万一の破損、水もれのとき	28
故障かな?と思ったとき	29

別売品/便座の抗菌	30
定格・仕様	31
保証とアフターサービス	31

お買い上げいただきありがとうございます。
よくお読みの上、保証書と共に大切に保管してください。

1 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 ここで示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は次のように区分しています。

いずれも、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

-  **警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合
-  **注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される場合

- 絵表示の例
-  ● 記号は、**禁止**の行為であることを告げるものです。
(左図の場合は分解禁止)
 -  ● 記号は、行為を**強制**したり、**指示**したりする内容を伝えるものです。
(左図の場合はアース工事をする)

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

 分解禁止	絶対に分解したり、修理・改造はしない 感電、火災、けがの原因になります。 修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
 水場使用禁止	浴室など、湿気の多い場所には設置しない 感電や火災の原因になります。
 水ぬれ禁止	本体や電源プラグに水や洗剤や小便をかけない 感電や火災の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 禁止	傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない 電源コードを破損するようなことはしない 感電や火災の原因になります。
 必ず守る	必ず交流100Vで使用する 守らないと感電や火災の原因になります。
	定格15A以上のコンセントを単独で使う 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因になります。
	電源プラグにほこりが付着したら必ず取りのぞく ほこりが付着したまま使用すると、火災の原因になります。定期的に点検してください。
	電源プラグは確実に根元まで差し込む 差し込みが不完全な場合、感電や火災の原因になります。
	必ず上水道に接続する 守らないとぼうこう炎や皮膚の炎症、および機械内部の腐食により、感電・火災の原因になります。
	低温やけどに注意する 便座に皮膚の同じ場所が長時間触れていると、低温やけどの原因になります。 次のような方が、暖房便座をご使用になるときは、周囲の方が便座温度の設定を「低」にしてあげてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">お子様、お年寄り、ご病人、自分で温度調節のできない方、皮膚感覚の弱い方、眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方、深酒、疲労の激しい方。</div>

警告

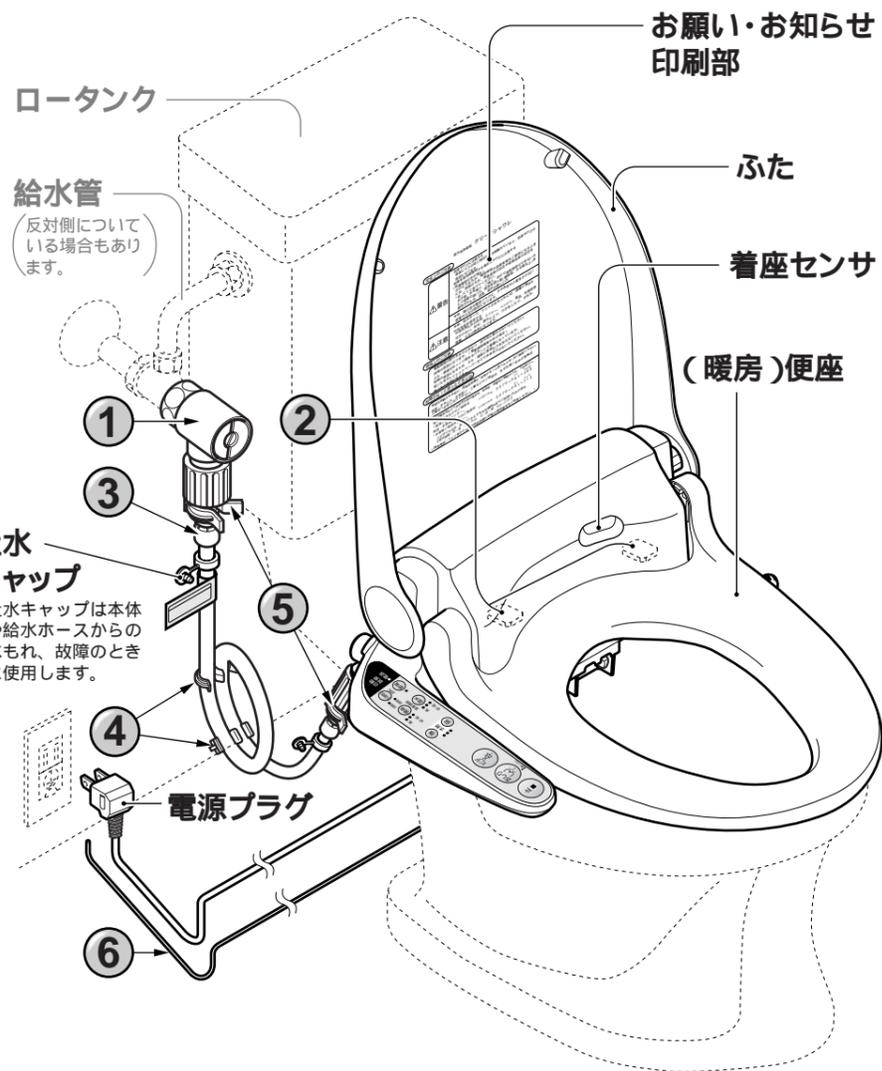
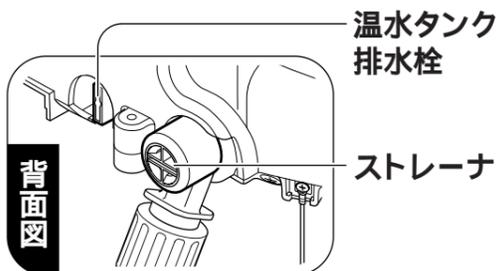
- 
必ず守る 寒冷地での取り付けは暖房の効いた部屋で本体をあたためてからおこなう(約2時間)守らないと本体検査時の残水が輸送や保管中に凍結し、本体への給水がおこなわれない場合があり、故障や火災の原因になります。
- 
アース線接続 アースは、D種(第3種)接地工事されていることを確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電の原因になります。
アース工事はお買い上げの販売店等にご依頼ください。

注意

- 
禁止
 - 便座、ふた、操作部や本体の上に乗ったり、強い衝撃を与えない
転倒したり、割れてけがをする原因になります。
 - 便座コードに足をかけたり、乗ったりしない
コードが切れてけがをしたり、感電、火災、故障の原因になります。
 - 座ったまま、ふたに寄りかからない
ふたが傷ついたり、割れてけがをする原因になります。
 - 分岐水栓に力を加えたり、分岐水栓本体を回転させない
水もれの原因になります。
 - 給水ホースをひっぱったり、折り曲げたり、とがったもので傷をつけない
水もれの原因になります。
 - 開口部から指や物を入れない
感電、やけど、火災、故障の原因になります。
- 
必ず守る
 - 本体、給水ホース、ナットのお手入れには適量に薄めた中性洗剤を使用する
中性以外の洗剤、シンナー、ベンジン、薬品、芳香剤などはかけない。劣化、割れにより、けがをしたり、水もれや火災、感電の原因になります。
 - お手入れのあと、ホース取り付け部がゆるんでいないか確認する
ゆるんだまま使用すると水もれの原因になります。
 - 凍結予防する(27ページ参照)
凍結すると配管、本体内部が破損して水もれの原因になります。
 - 長期間使用しないときは本体の水を抜き、電源プラグを抜く(26ページ参照)
そのまま放置すると水の腐敗による皮膚の炎症の原因になります。
 - 本体を着脱する前に必ず電源プラグを抜く
抜かないと、感電の原因になります。
 - 持ち運ぶときや、本体着脱時は、必ず本体を持ってからおこなう
ふた・便座を持つと本体からはずれ、けがをする原因になります。
 - ふた・便座開閉時、指などをはさまないように注意する
守らないとけがをする原因になります。
 - 本体着脱時は、本体に無理な力を加えないように注意する
守らないとけがをしたり、配水管の水もれの原因になります。
本体を着脱しにくい場合は、無理に取りはずさないで、本体固定プレートを固定しているナットをゆるめてはしてください。

2 各部のなまえと付属部品

本体部



付属部品

1 分岐水栓

栓ボタン 止水栓

アダプター A、B
アダプター A アダプター B
1セット

給水管用パッキンセット

黒いパッキン 1枚
青いパッキン 2枚
黄色いスリップワッシャー 1枚

止水栓のタイプにより使用します。

2 取り付けボルトセット

取り付けボルト
ゴムワッシャー
半球パッキン
ナット
2セット

3 給水ホース

長さ:約1m

4 ホースクリップ

2コ

5 固定クリップ

2コ

6 アース線

長さ:約1.5m

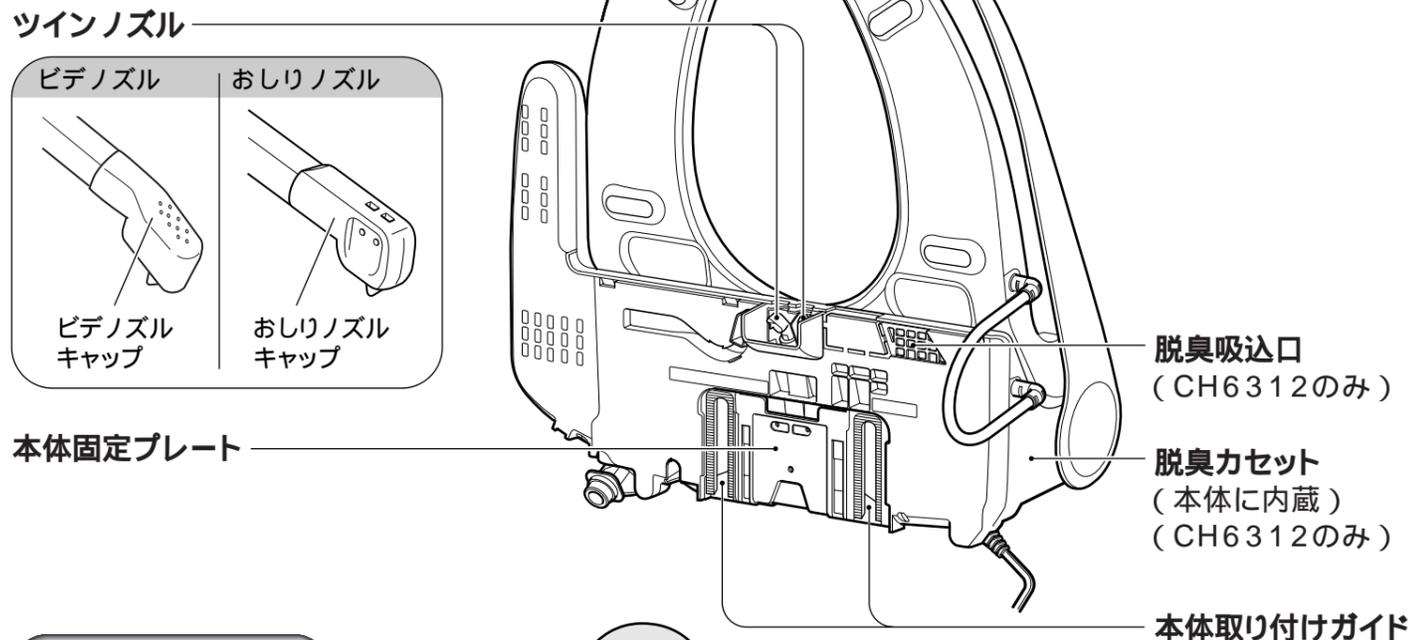
7 取付スパナ

8 保証書

9 取扱説明書

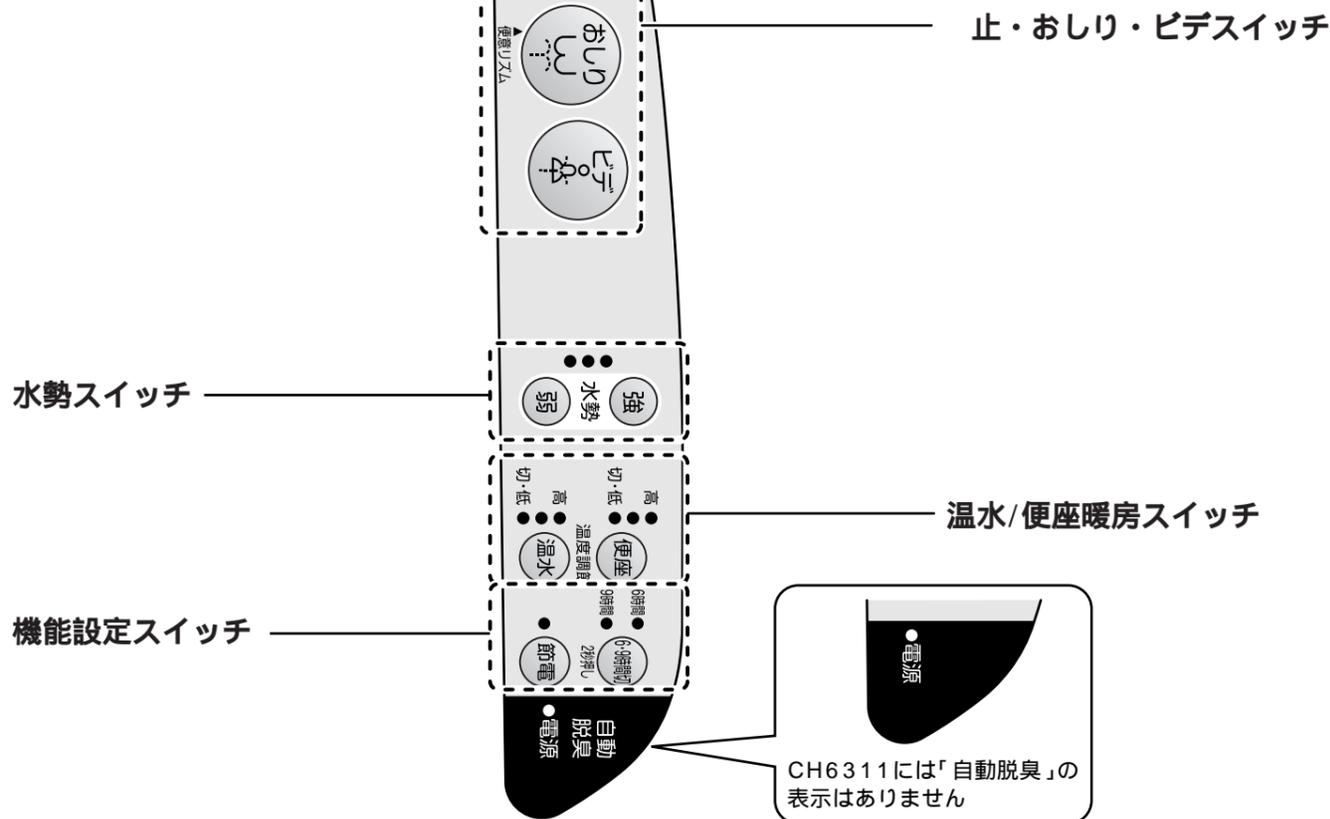
付属品が揃っているか、 欄をチェック しながらか確認してください。

本体部裏側



操作部

くわしくは18~20ページをごらんください



目の不自由な方のために 印部分に点字を設けています。

3 取り付け前の準備

取り付け完了まで次のことをお守りください

電源プラグを絶対にコンセントに差し込まない。

閉めていた水道の元栓は、絶対に開けない。
故障、水もれの原因になります。

取り付け前の注意事項

使用可能水道圧は 69 ~ 735 kPa (0.7 ~ 7.5 kgf/cm²)です。

上記水道圧でも、トイレ付近の蛇口をお使いになると水圧が
下がり洗浄水が出にくい場合があります。

取り付け準備

トイレの止水栓のタイプを確認する

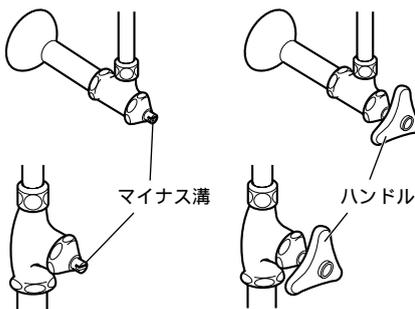
ここが止水栓です

ロータンクの右側に付いている場合もありますが取り付けに支障はありません。

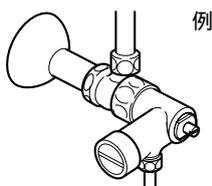


Aタイプ

外ネジタイプの止水栓

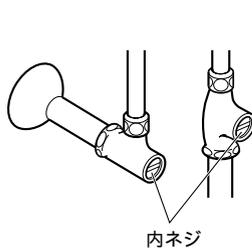


既存の温水洗浄便座の分岐水栓が止水栓に直接ついている場合

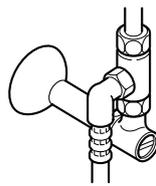


Bタイプ

内ネジタイプの止水栓

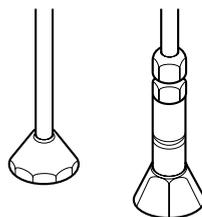


既存の温水洗浄便座の分岐水栓が止水栓の上についている場合



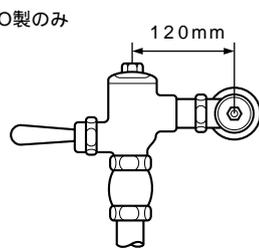
寒冷地用給水管

(止水栓なし)



フラッシュバルブ

TOTO製のみ

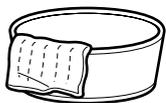


お客様ご自身で取り付けできます。

専門的な工事になりますので、販売店にご相談ください。

準備するもの

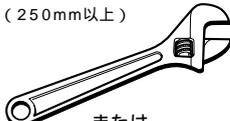
洗面器・ぞうきん



軍手

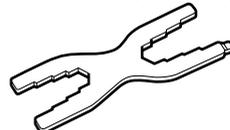


モンキーレンチ
(250mm以上)

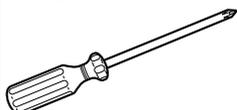


または

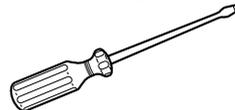
取付スパナ(同梱品)



プラスドライバー



マイナスドライバー



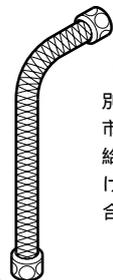
Bタイプのみ

給水管の長さを調節する必要があります。
給水管を切るか、別売りのフレキパイプが必要です。

フレキパイプ

(CH79021 長さ約40cm)

別売品のフレキパイプを取り付ける。
市販のフレキパイプでも代用できます。
給水管がすでにフレキホース(簡単に曲げることができるもの)になっている場合は、フレキパイプは必要ありません。



パイプカッター



(フレキパイプが入手できない場合、パイプカッターが必要です。)

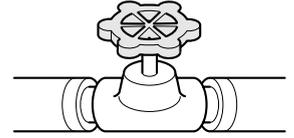
4 取り付けの手順

大まかな取り付けの流れを説明します。

水道の元栓を閉める

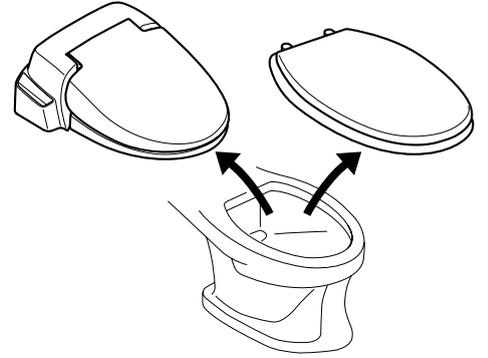
7 ページ

- 元栓を閉め、止水栓をはずした状態の時は、他のトイレや水道等を使用しないでください。水もれのおそれがあります。



現在お使いの便座を取りはずす

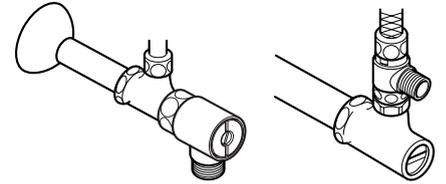
7 ページ



分岐水栓を取り付ける

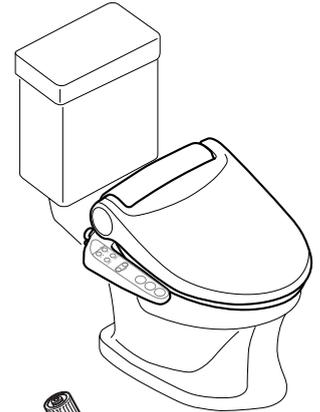
8 ページ

- シャワレに入る水とロータンクに入る水を分ける作業です。止水栓のタイプにより、取り付け方法が異なります。



本体を取り付ける

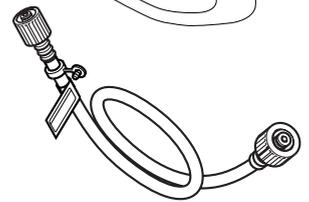
13 ページ



給水ホースを取り付ける

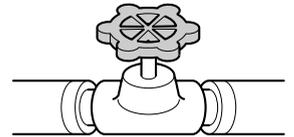
14 ページ

- 手で締めることができます。固定クリップで固定し、ホースクリップでホースをまとめます。



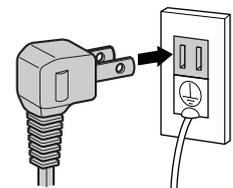
水道の元栓を開ける

14 ページ



電源プラグを差し込む

15 ページ



温水タンクに給水する

16 ページ

5 施工・取り付け

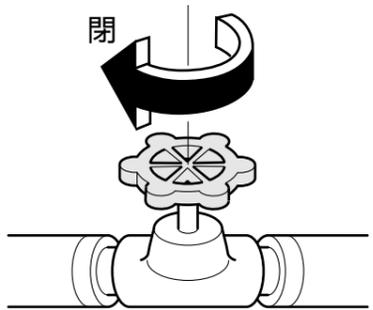
1 水道の元栓を閉める

多くの場合、建物の外に元栓があります。

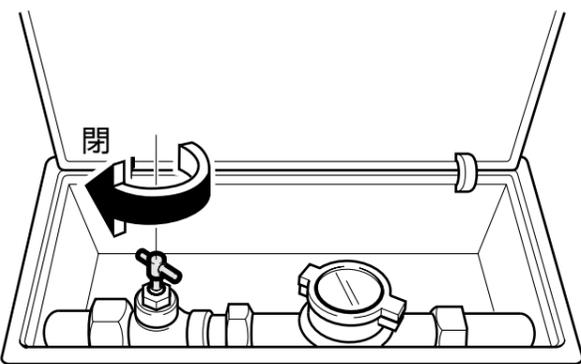
注意事項

元栓を閉める前に、ガス湯沸器や洗濯機などの使用を止めてください。閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。

一般的な元栓の場合

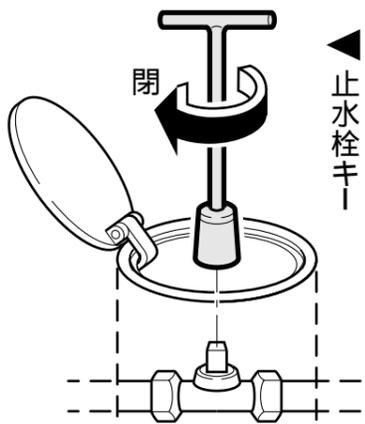


水道メーターと一体化になった元栓の場合



メーターボックスの止水栓を閉める

埋込み式の元栓の場合



止水栓キー

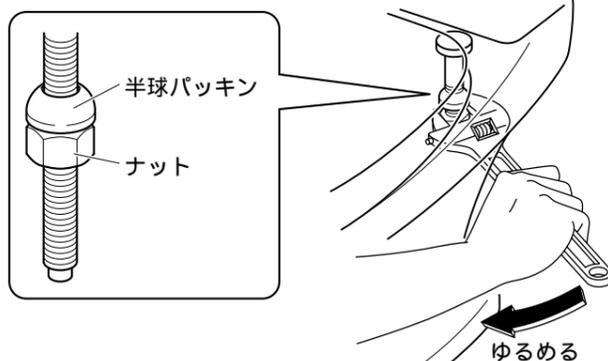
止水栓キーなどで閉める

2 現在お使いの便座もしくは温水洗浄便座を取りはずす



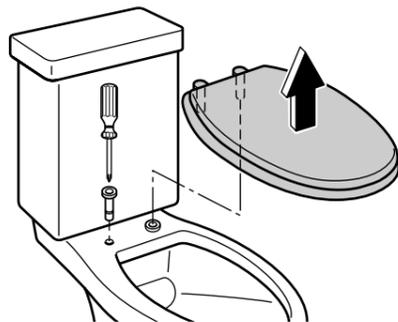
はずし方がわからない場合は、各メーカーにお問い合わせください。

1 ナットをモンキーレンチなどでゆるめる



2 ナットと半球パッキンをはずし、便座もしくは温水洗浄便座を取りはずす

ナットで固定していない場合、便座のヒンジ部を上方へ引き上げ、プラスドライバー等にてネジを取りはずしてください。

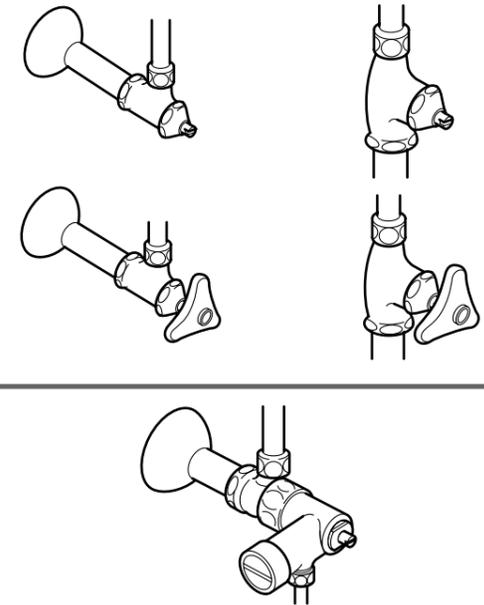


転居等に備え、便座、ふた、ナット、半球パッキンの保管をおすすめします。

次のページから、止水栓に分岐水栓を取り付ける方法を説明します。止水栓のタイプによって手順が異なります。

外ネジタイプの止水栓

既存の温水洗浄便座の分岐水栓が止水栓に直接ついている場合



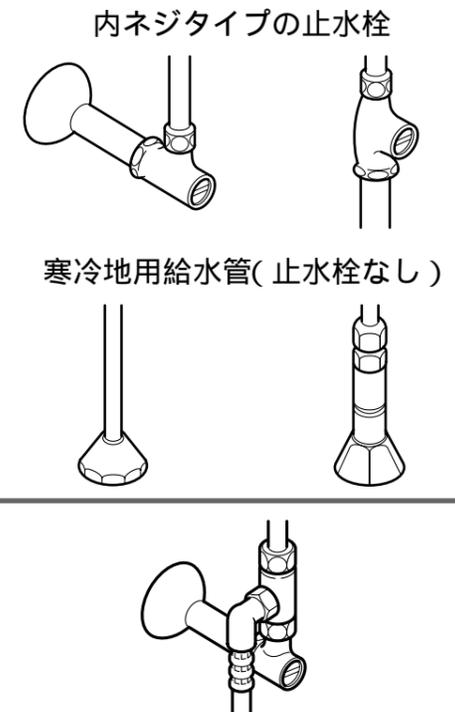
A

既存の温水洗浄便座の分岐水栓が、ついている場合は、取りはずしてください。(取りはずし方は既存の温水洗浄便座の施工説明書をご覧ください。)

内ネジタイプの止水栓

または
寒冷地用給水管

既存の温水洗浄便座の分岐水栓が給水管の途中に
ついている場合



B

3 分岐水栓を取り付ける

完成図

外ネジタイプの止水栓

元栓を閉め、止水栓をはずした状態の時は、他のトイレや水道などを使用しないでください。逆流のおそれがあります。

警告

分岐水栓等は付属の物に取りかえる老朽化による故障で水もれのおそれがあります。

完成図

内ネジタイプ

止水栓なしタイプ

1 水栓コマを取り出す

配管の止水栓をモンキーレンチで取りはずし、水栓コマを取り出します。

止水栓棒 座金 パッキン キャップ

使用しませんが、転居等に備え、保管をおすすめします。

止水栓棒
止水栓棒をマイナスドライバーではずす

既存の温水洗浄便座の分岐水栓がついていた場合は、同じように分岐水栓をはずし、中から水栓コマを取りだす。

固定コマ

注意

水栓コマが固定コマの場合は全ての部品を元に戻し、止水栓のキャップを閉めた後、下記「内ネジタイプの止水栓の場合」の方法で、取り付けを行ってください。
固定コマ = 水栓コマと止水栓棒が一緒になったもの(寒冷地で多く使用されます。)

2 水栓コマを差し込む

付属の分岐水栓にゴムパッキンが入っていることを確認し、①で取り外した水栓コマを差し込みます。

取り出した水栓コマの黒いパッキンにキズなどがある場合は、止水性能に影響がありますので、交換することをおすすめします。(ホームセンターなどでお買い求めください)

分岐水栓からゴムパッキンがとれた場合

分岐水栓からゴムパッキンが取れた場合、下図のように斜めになっている方から内側にはめてください。

断面図

ゴムパッキンの斜めになっている方から袋ナットの内側に入れる

パッキンをなくしたり、傷をつけた場合はパッキンのみお取り寄せ頂きます(有料)。販売店にご注文ください。

1 分岐水栓の組み替えを行う

① 栓ボタの溝にマイナスドライバーなどを差し込んで栓ボタをはずします。

② 止水栓棒をマイナスドライバー等で左に回してはずします。

③ 付属のアダプターBをモンキーレンチで回して分岐水栓へ固定します。

アダプターAはこの時点では取り付けません。

必ずモンキーレンチで回らなくなるまで締め付けてください。

分岐水栓(止水栓棒をはずしたもの)

組み替えた分岐水栓完成図

締め付け点検

注意

必ず軍手をはめて、モンキーレンチで締め付ける素手で回すとネジ部で手を切るおそれがあります。

栓ボタ・止水栓棒は使用しませんが、転居又は他の便器に付け替える場合などに備え、保管をおすすめします。

2 給水管をはずす

内ネジタイプの止水栓の場合

① 水道の元栓が閉まっているか確認する。

② 止水栓を閉める。

③ 上下のナットをゆるめる。

④ 給水管を取りはずす。

パッキンがストレーナ(あみ)付の場合は、水洗いし、そのままお使いください。給水管がフレキホース(簡単に曲げることができるもの)の場合は、止水栓側の方だけはずし、組みかえた分岐水栓を取り付けることもできます。

配管の残水を洗面器などで受ける

止水栓なしタイプの場合

① 水道の元栓が閉まっているか確認する。

② 給水管を取りはずす。

施工時は取りはずす。

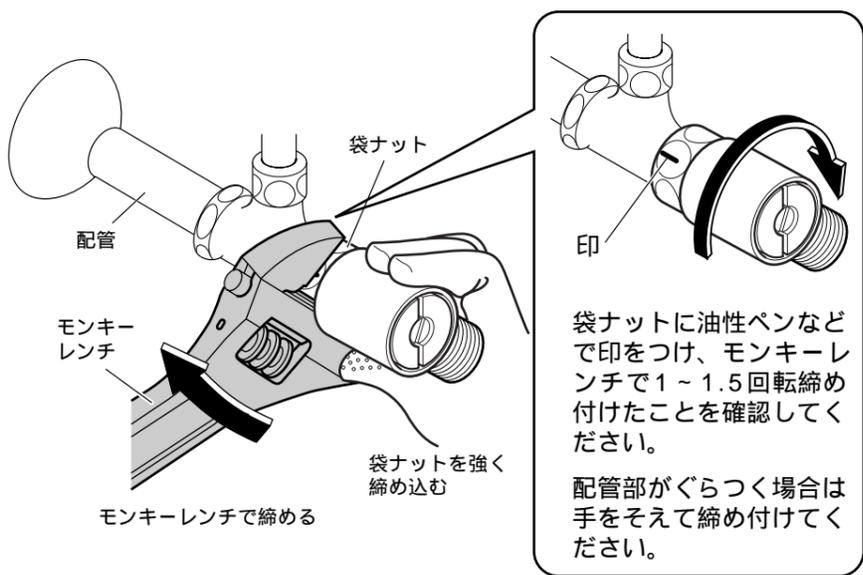
パッキンがストレーナ(あみ)付の場合は、水洗いし、そのままお使いください。給水管がフレキホース(簡単に曲げることができるもの)の場合は、止水栓側の方だけはずし、組みかえた分岐水栓を取り付けることもできます。

配管の残水を洗面器などで受ける

3 分岐水栓を取り付ける(続き)

3 分岐水栓を取り付ける

配管に分岐水栓を差し込み、袋ナットを手で強く締め込み、さらにモンキーレンチで1~1.5回転ほど締めつけます。



袋ナットに油性ペンなどで印をつけ、モンキーレンチで1~1.5回転締め付けたことを確認してください。
配管部がぐらつく場合は手をそえて締め付けてください。

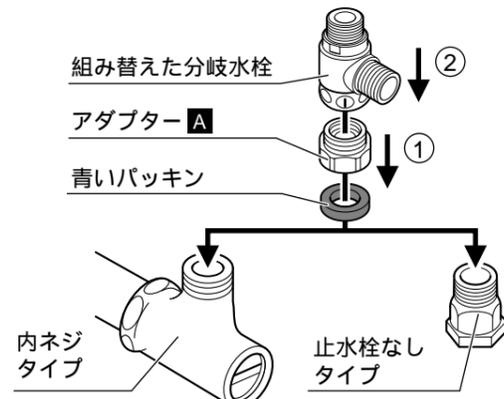
注意

必ず軍手をはめて、モンキーレンチで締め付ける素手で回すとネジ部で手を切るおそれがあります。

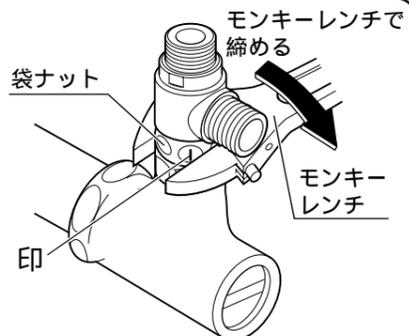
3 組み替えた分岐水栓を取り付ける

① 付属の青いパッキンを間にはさみ、同梱部品のアダプターAを止水栓に締め付けます。

② 組み替えた分岐水栓をアダプターAに差し込み、袋ナットを手で強く押し込んでから、さらにモンキーレンチで1~1.5回転締めつけます。

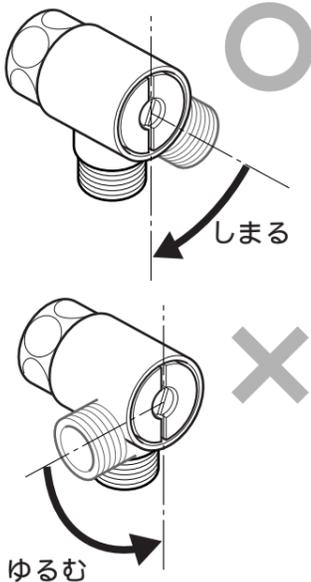


袋ナットに油性ペンなどで印をつけ、モンキーレンチで1~1.5回転締め付けたことを確認してください。



ポイント

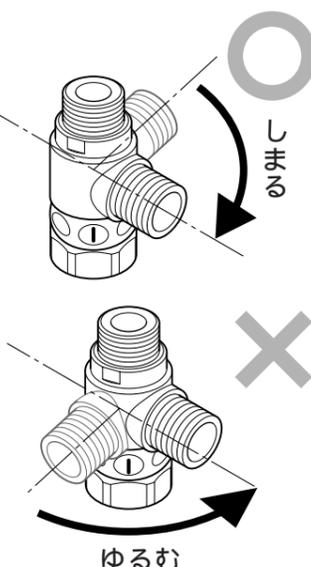
施工後の水もれ原因の多くが袋ナットの締め付け不良です。しっかり締め付けてください。



仕上がり位置より少し手前の位置に分岐水栓を固定して袋ナットを締め込んでいき、最後の締め込みと一緒に分岐水栓を仕上がり位置へ持っていきようにすると、うまく取り付けられます。

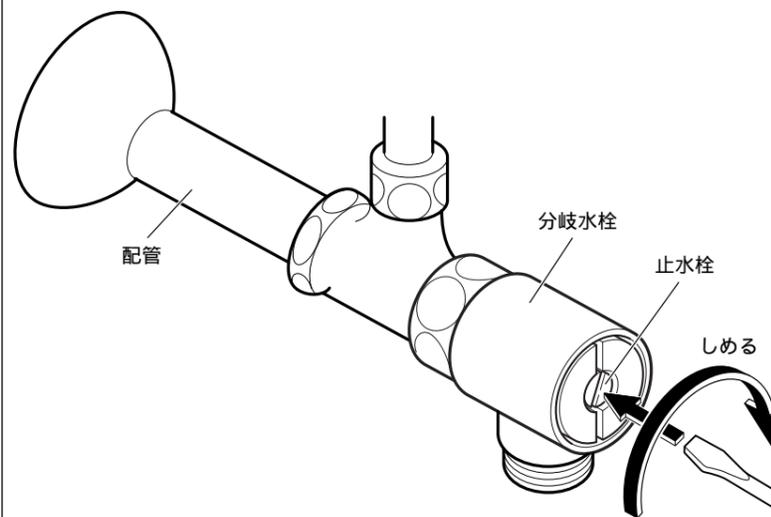
ご注意

● 位置合わせのために分岐水栓をゆるめる方向へ回すと、使用中に水もれすることがあります。

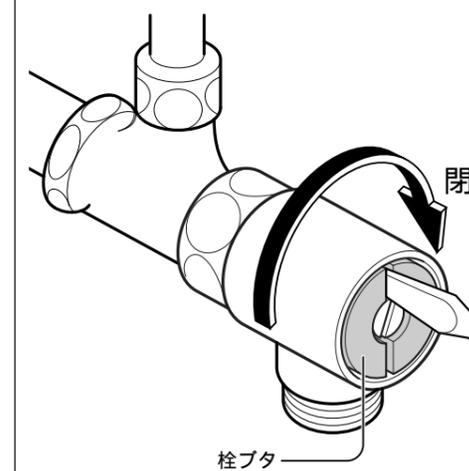


4 止水栓を確実に閉める

止水栓を押し込みながら確実に閉めます。(水もれ防止のため)

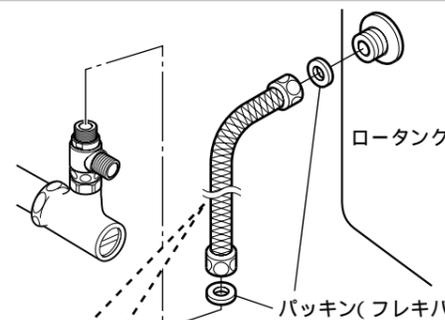


5 栓ボタンが確実に閉まっていることを確認する



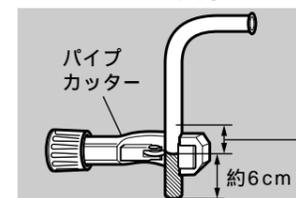
ここからは、どちらのタイプも同じ手順になります。次ページの「本体を取り付ける」にお進みください。

4 別売品のフレキパイプCH79021(長さ約40cm)を取り付ける



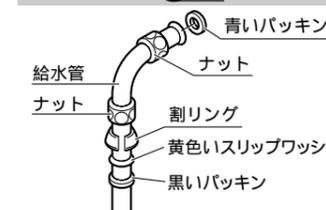
給水管の長さを調節し、組み替えた分岐水栓とロータンクをつなぎます。給水管がフレキホースの場合は、組み替えた分岐水栓とつながります。

フレキパイプが入りできない場合は、給水管を切断します。(約6cm)



分岐水栓への差込部分は2~3cmを必ず確保する。

配水管の切断はパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗い等で切粉を取り除いてください。

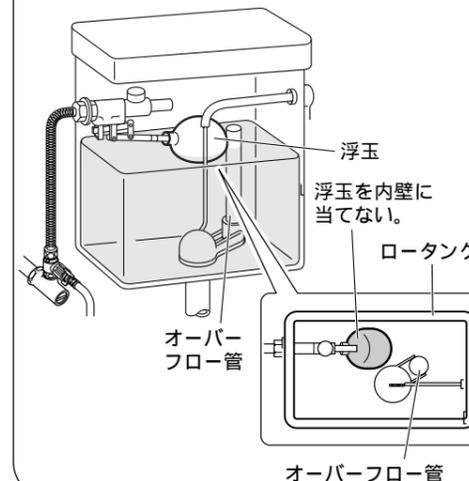


使用するパッキン



5 ロータンクの中を確認する

取り付け後は、ロータンクの中の浮き玉が内壁に当たっていないか確かめます。(当たっているとロータンクの水が止まりにくくなります。)



4 本体を取り付ける



警告

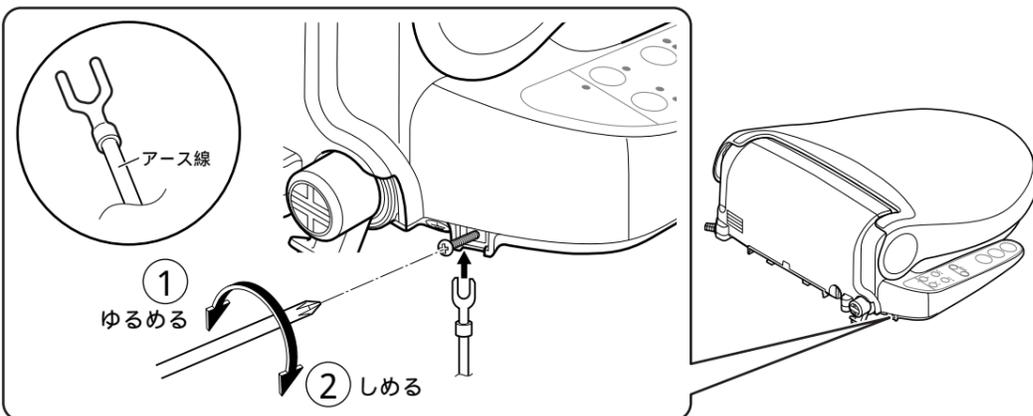
アースを確実に取り付ける【D種(第3種)接地工事100以下】
アースを取り付けないと故障や漏電のときに感電の原因になります。

アース線は付属のものに取り替える
老朽化による故障で感電のおそれがあります。

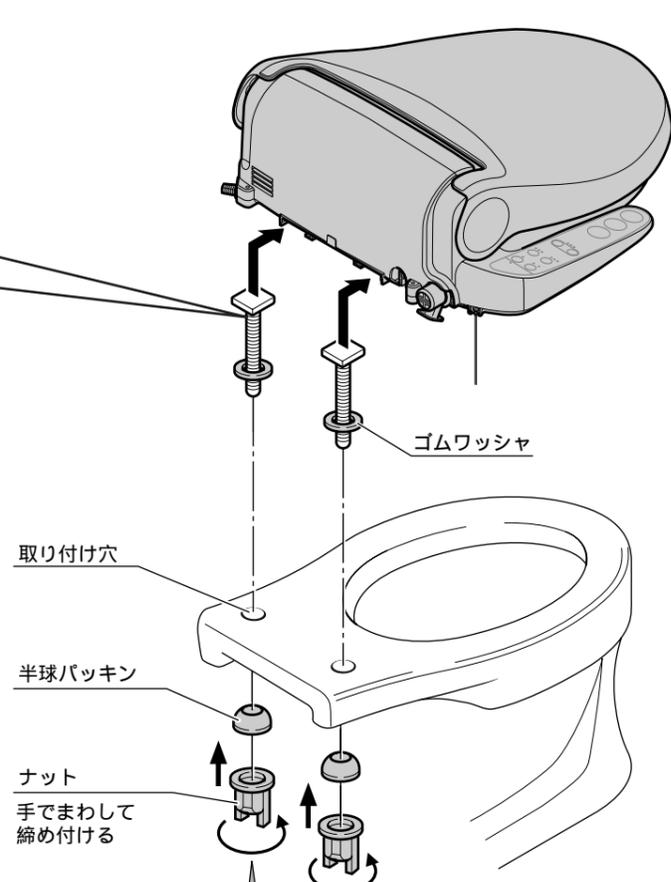
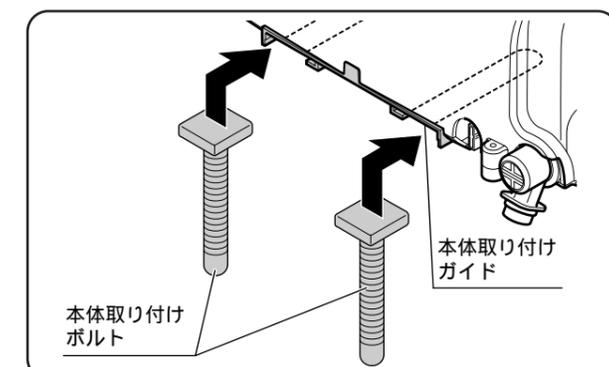
1 アース線を取り付ける

① 本体のアース取り付けネジをプラスドライバーでゆるめます。

② アース線の端子を差し込みアース取り付けネジを締め付けます。



2 取り付けボルトを本体取り付けガイドに合わせてはめ、ゴムワッシャを挿入する



3 便器の穴に取り付けボルトを入れ本体位置を調節し、半球パッキンとナットを取り付け固定する

- 注意**
- ナットは工具で締めないでください。破損するおそれがあります。
 - ふたが開いたときに、ふたがロータンクと接触する場合には接触しない位置(手前)へ少しずらして固定してください。

5 給水ホースを取り付ける

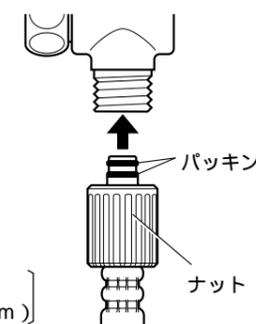
1 給水ホースをつなぎ、ナットを締める

給水ホースのパッキン部をつきあたるまで、まっすぐに差し込み、ナットを手で回して取り付けます。

回らなくなるまで手で回してください。破損防止のため、工具を使用して回さないでください。パッキンを傷つけると水もれします。

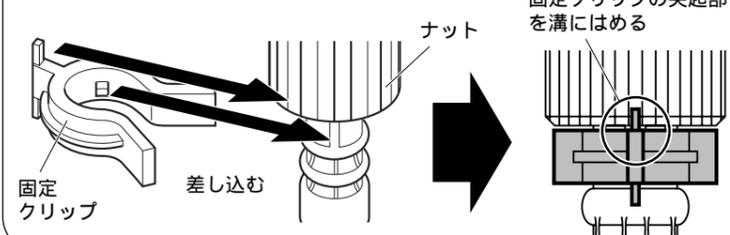
ホースの長さがたりない場合、延長ホースをお買い求めください。

〔別売品連結用ホースセット
CH79018(長さ1m)、CH79019(長さ2m)〕



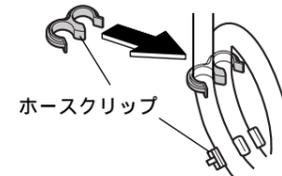
2 ナット部に固定クリップを取り付ける

ナット部にホースはずれ防止のため、固定クリップを付けます。(分岐水栓側、本体側とも)

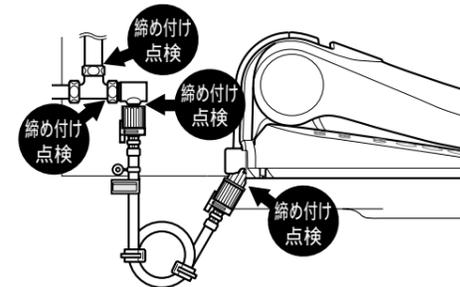


3 ホースのたるんだ部分にホースクリップを取り付ける

ホースクリップの取り付け向きに注意してください。



〔完成図〕図は外ネジタイプの止水栓の場合です。

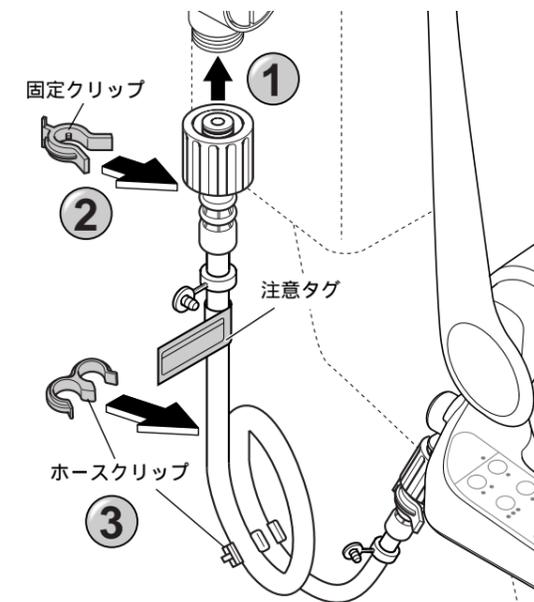


警告

給水ホースは付属のものにとりかえる
老朽化による故障で水もれのおそれがあります。

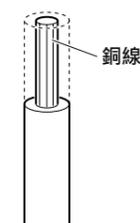
ご注意

- 給水ホースが折れると水の勢いが弱くなります。



6 アース線を接続する

1. アース線の銅線をむき出しにします。



2. コンセントのアース専用端子に固定します。

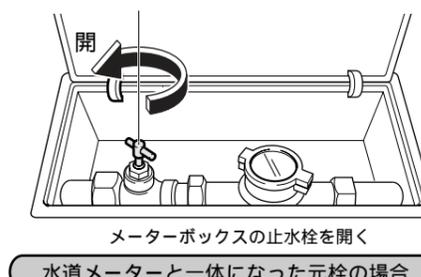
(アース専用端子がない場合はお買い上げ店にご相談ください。)
(アース線の長さはトイレの場所の形状により調節してください。)



警告

アース線は付属のものに取りかえる
老朽化による故障で感電のおそれがあります。

7 水道の元栓を開ける

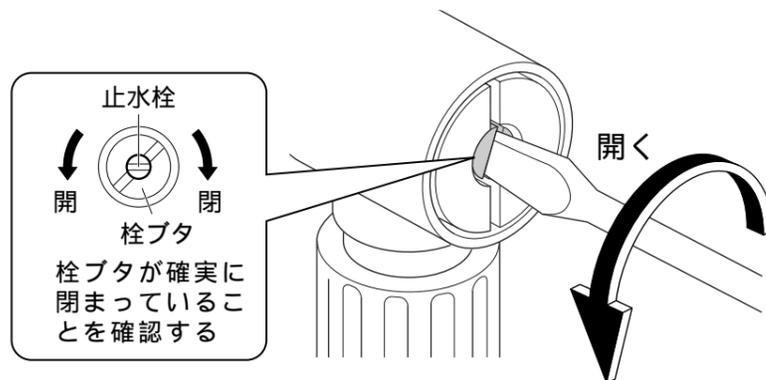


6 お使いになる前に

1 止水栓を開ける

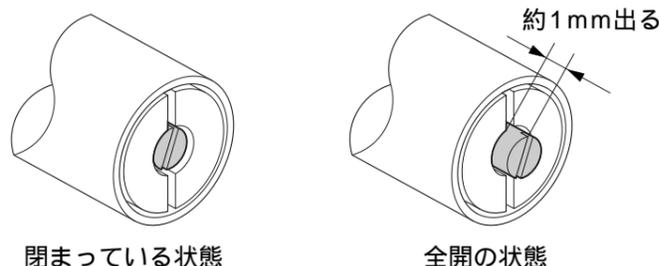
閉まっている状態から左まわりに約2回転させて開けます。

- 水勢にあわせて微調整してください。
- 栓ボタンは開かず、止水栓のみ開けてください。
(栓ボタンをゆるめると水もれのおそれがあります。)



止水栓は全開にすると空まわりします。ご使用にあたっては問題ありませんが次に止水栓を閉めるときに閉めにくくなります。

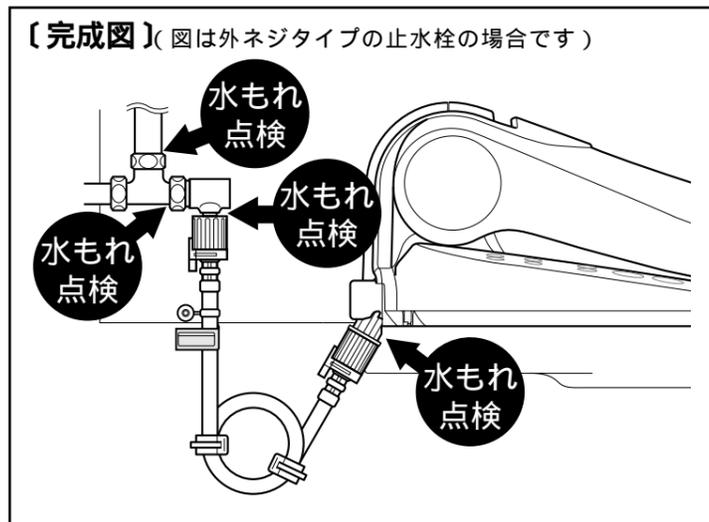
• 止水栓の開閉状態について



2 水もれがないことを確認する

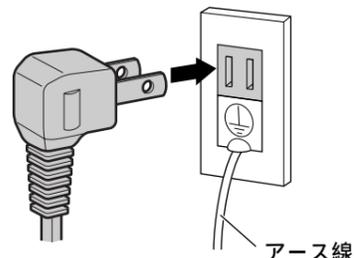
配管や給水ホースから水もれがないことを確認します。

- 水もれているときは、止水栓を閉め、水がもれている所を確認し、締め直してください。



3 電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込む

- 本体操作部の電源ランプが点滅します。
(約20秒で電源ランプが、点灯に変わります。)
- 本体操作部の温水ランプ“低”が点滅します。
(温水タンクが満水の場合は、温水ランプ“中”が点灯)
- 本体操作部の便座ランプ“中”が点灯します。

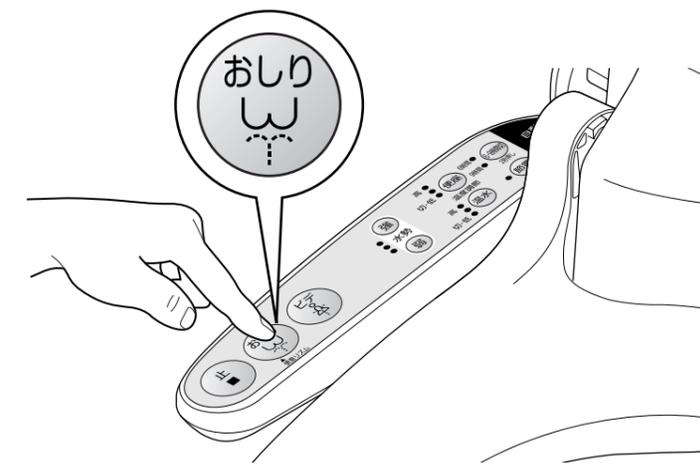


4 温水タンクへ給水する

おしりボタンを押してください。

給水を開始し、約2分で給水は完了します。

- 給水が完了すると温水ランプの“低”の点滅から“中”の点灯に変わります。



- 温水タンクへの給水が終わるまで、温水ランプ“低”の点滅が続きます。
- 約2分以上たっても給水が完了しないときは、水道の元栓、もしくは止水栓が閉じていないか確認してください。
- 給水後、お湯が設定温度になるまで約5分かかります。
- 給水中は、音がしますが故障ではありません。

以上で取り付けは完了です。

取り付けかたがわからないときは、

31ページに記載の【お客様ご相談センター】にご相談ください。

お願い(必ずお読みください)

ご使用の際、故障かな?と思われるときは、29~30ページをまずお読みください。特に下記はお使いはじめに故障と誤解されやすい現象です。原因をお確かめのうえ、正しくお使いください。

洗浄スイッチを押しても洗浄しない

- 元栓が閉まっている。
- 温水タンクへの給水が完了していない。
- 6・9時間切タイマーが設定されている。
(21ページ)

洗浄後、ノズル付近から水がぼたぼた落ちる

- ノズル内の残水が出るため、異常ではありません。

便座や温水が冷たい

- 節電を設定している。(21ページ)

洗浄終了後、“キュー”という音がする

- 水を止めるときに発生する音で、異常ではありません。

これらの場合は、故障ではありません

7 使いかた (その1)

1 便座に座る

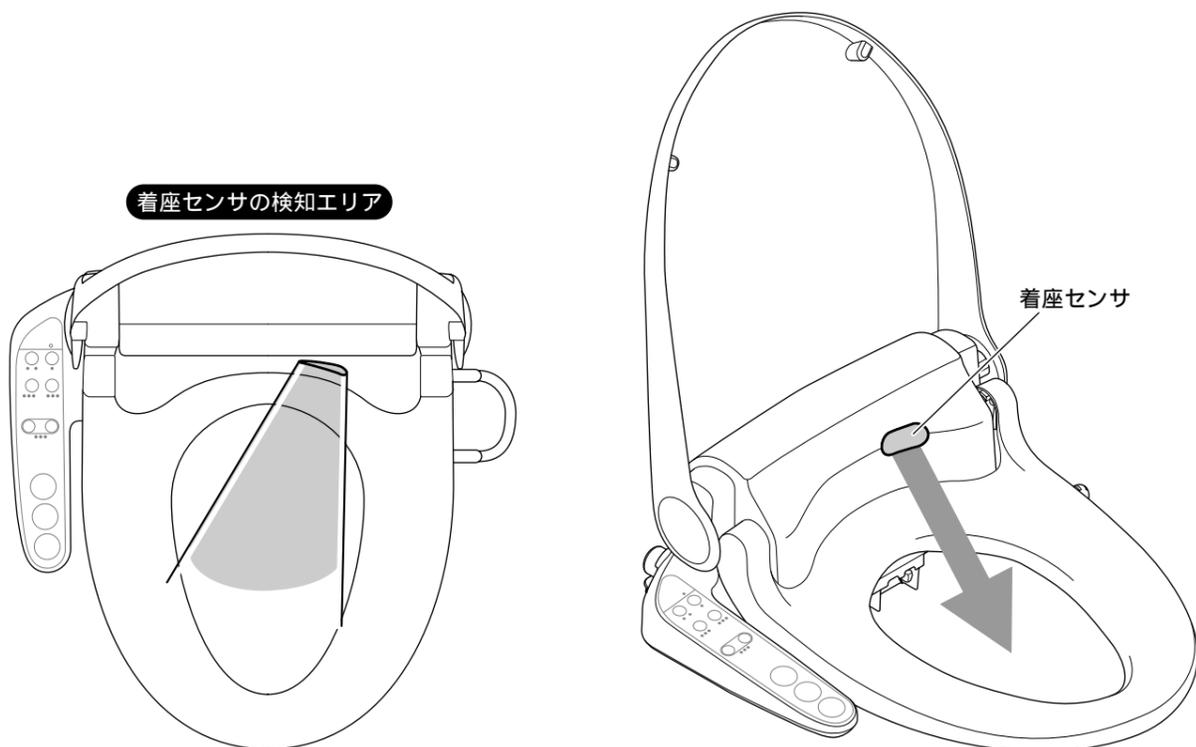
- 便座に座ると着座センサがはたらきます。
- 水勢ランプが点灯します。
- 便器内の脱臭をはじめます。(CH6312のみ)

⚠注意

便座、ふた、操作部や本体の上に乗ったり、強い衝撃を与えない
転倒したり、割れてけがをする原因になります。

着座センサについて

- 着座を検知すると洗浄や脱臭(CH6312のみ)が使えるようになります。
- 着座センサからは下図のように赤外線が出ています。この赤外線の位置に着座すると人体を検知します。



• 次のような場合、着座を誤検知する場合があります。

極端な前かがみ、もしくは前寄りに座っている場合

▶ 背筋をのばし便座の後ろ寄りにお座りください。

着座センサの表面がゴミや水滴などで汚れている場合

▶ 汚れを取り除いてください。

赤外線を反射しにくい衣服(黒っぽい服など)を着用している場合、もしくは衣服が密着している場合

▶ 衣服を持ち上げ、肌を検知するようにしてください。

2 洗う

① おしり 又は ビデ のいずれかを押す

- おしり洗浄中に おしり を再度押すたびに、おしり洗浄と便意リズム洗浄が切り替わります。

② 強 または 弱 を押し水勢を調節する

- 調節は3段階で、直前に使った水勢のレベルを記憶しています。
- 便意リズム洗浄は水勢の最高と最低を繰り返すので、水勢の変更はできません。
- ノズルが出る前に、自動でノズル洗浄をします。(ノズル滝洗浄)

ノズル滝洗浄とは

- おしりノズルおよびビデノズルを強力シャワーで洗浄しノズルを清潔に保つ機能です。
- 洗浄前、洗浄後、立ちあがったときに自動でノズル洗浄を行います。

ノズル滝洗浄をはたらかないようしたいとき

- おしり と 便座 を同時に3秒間以上押す
上記の設定を解除するには、電源プラグを抜いてから、再度コンセントに差し込んでください。



(イラストはCH6312です)

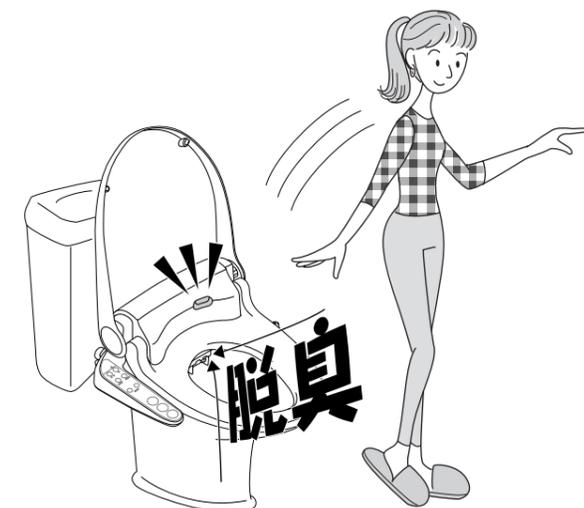
3 止める

止 を押す

ノズルがもどりながら、自動でノズル洗浄をします。(ノズル滝洗浄)

便座からはなれると...

- ノズル洗浄を行います。(ノズル滝洗浄)
- 約1分間便器内の脱臭を行います。(CH6312のみ)
- 節電を設定していると約1分後節電をはじめます。(21ページ参照)



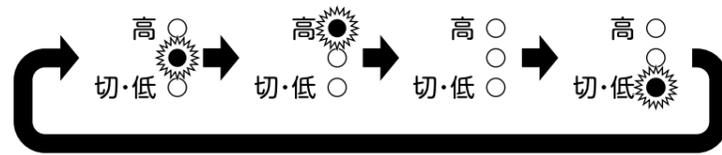
使いかた (その2)

操作のしかたと機能

暖房便座温度の調節

●**便座** を押して、暖房便座をお好みの温度に調節する

●**便座** を押すごとに次のように切り替わります。



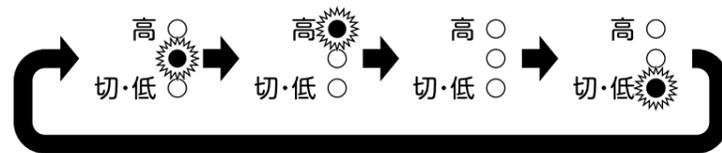
調節後、設定温度になるまで数分間かかります。

設定は3段階で調節できます。
3段階のランプ表示で表します。

温水温度の調節

●**温水** を押して、温水温度をお好みの温度に調節する。

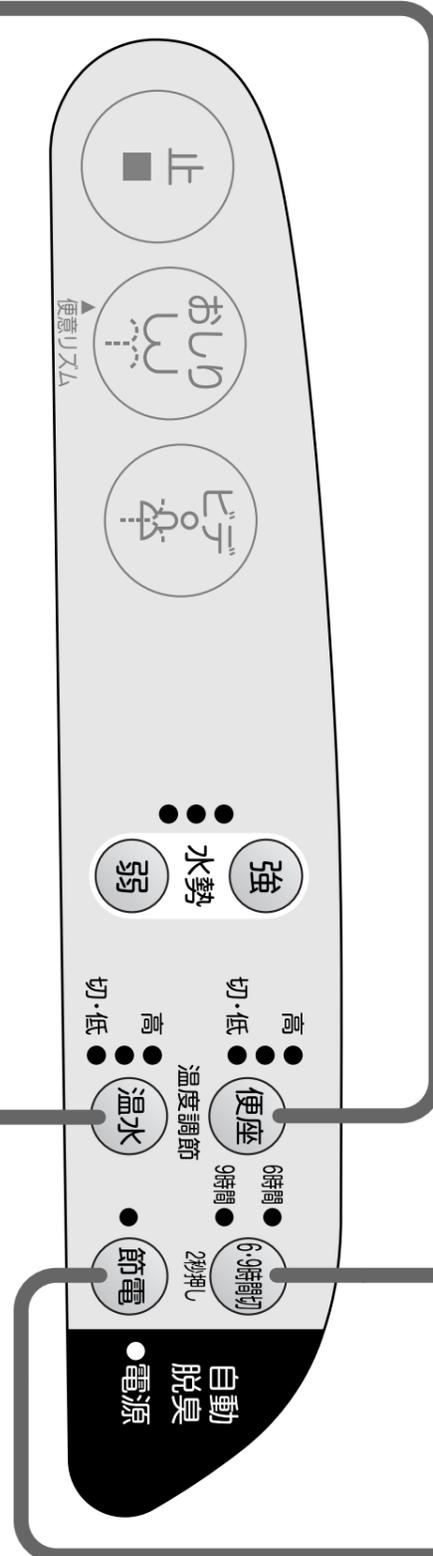
●**温水** を押すごとに次のように切り替わります。



調節後、設定温度になるまで数分間かかります。

設定は3段階で調節できます。
3段階のランプ表示で表します。

電源を切るスイッチはありませんが、便座と温水を「切」にすれば電気代はほとんどかかりません。



(イラストはCH6312です)

6・9時間切タイマーの設定

●**6・9時間切** を約2秒間押すと、6時間切ランプが点滅します。

再度、●**6・9時間切** を押すごとに、次のように切り替わります。



点滅したまま、約10秒間そのままにするとランプが点灯に変わり、切タイマーが設定されます。

切タイマー設定中に再度、●**6・9時間切** ボタンを押すと切タイマーが解除されます。

機能については21ページを参照

タイマーを解除した直後は、便座と温水の温度が充分上昇せず、つめたく感じる場合があります。

切タイマー作動中は着座しても、切タイマーは解除されません。

節電の設定

●**節電** を押すと、節電機能がはたらき、節電ランプが点灯します。

再度、●**節電** を押すと、解除されます。

機能については、21ページを参照

脱臭(CH6312のみ)

- 座ると同時に脱臭がはたらきます。(自動脱臭)
- 便座から離れると約1分後に脱臭が止まります。

脱臭をはたらかないようにしたいとき

●**止** と ●**ビデ** を同時に3秒間以上押す。

上記の設定を解除するには、電源プラグを抜いてから、再度コンセントに差し込んでください。

使いかた (その3)

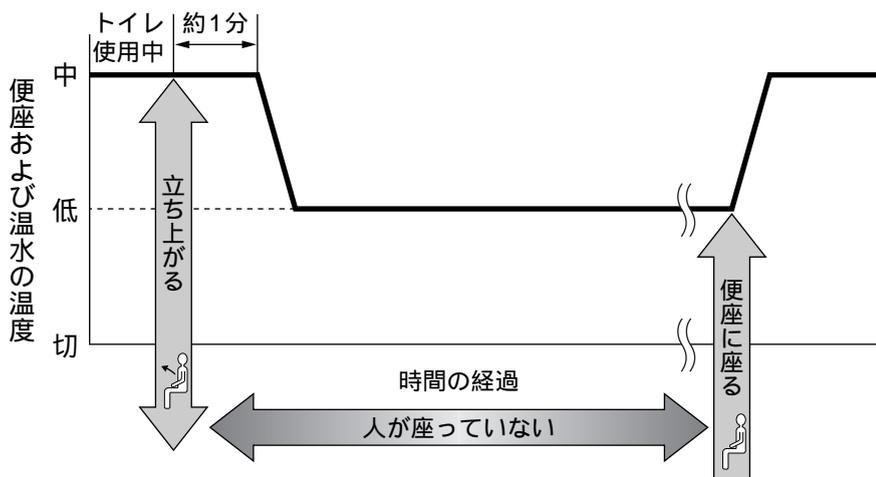
節電について

▶ 節電とは

着座センサにより、便座に人が座っているか、いないかを検知し、座っていないときには、便座と温水を低温で保温して、無駄な電気をセーブする機能です。

▶ はたらきとしくみ

便座および温水の設定温度が「中」の場合



便座から立ちあがって、約1分後に温度を「低」に下げて保温します。

元々の設定温度が「高」の場合でも「低」に下げます。

人が便座に座ると、元の設定温度に復帰します。

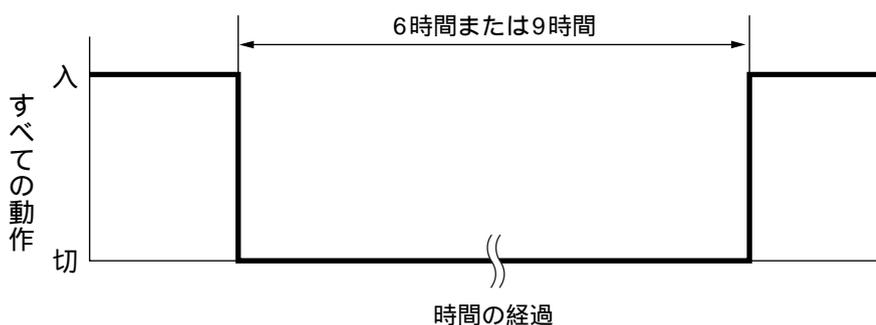
6・9時間切タイマーについて

▶ 6・9時間切タイマーとは

すべての動作を6時間、または9時間止めて無駄な電気をセーブし、6時間または9時間後には電源が入り、元の設定に復帰する機能です。

夜寝るときや、長時間外出するときなどにおすすめの機能です。

▶ はたらきとしくみ



タイマーを設定すると、すべて動作が止まります。

6時間または9時間後に電源が入り、元の設定に復帰します。

8

お手入れのしかた 日常/週一回

製品についた汚れ、黄ばみを放置しておくと変色することがあります。
快適にお使いいただくために、定期的なお手入れをおすすめします。

ふた・便座・本体のお手入れ

警告
本体や電源プラグに水をかけない
感電や火災の原因になります。

注意
開口部などから物を入れない
感電、火災、故障の原因になります。

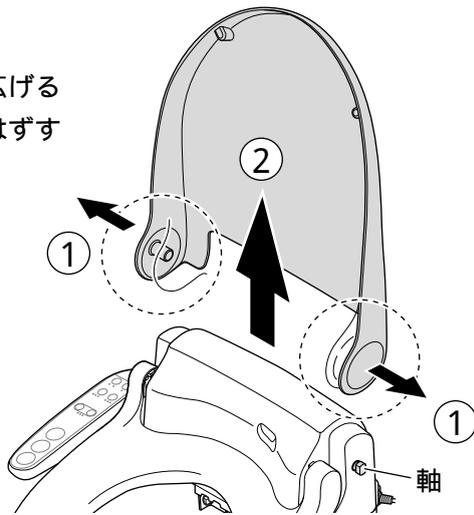
柔らかい布で水ぶきし、よくしぼった布でふきとる。
汚れが目立つときは、研磨剤の入っていない中性洗剤をお使いください。
●クレンザーや研磨剤の入っている洗剤は、本体やふた・便座を傷つけるおそれがあります。
●酸性やアルカリ性の洗剤は、プラスチックや本体内の金属部分を腐食させるおそれがあります。
乾いた布やトイレトペーパーなどでふかないでください。
傷つきの原因になります。

1 ふたと便座を垂直にしてはまず

垂直にしないですと、ヒンジ軸が斜めになり、うまく取り付けられない場合があります。
便座コードははずれませんので無理にひっぱらないでください。

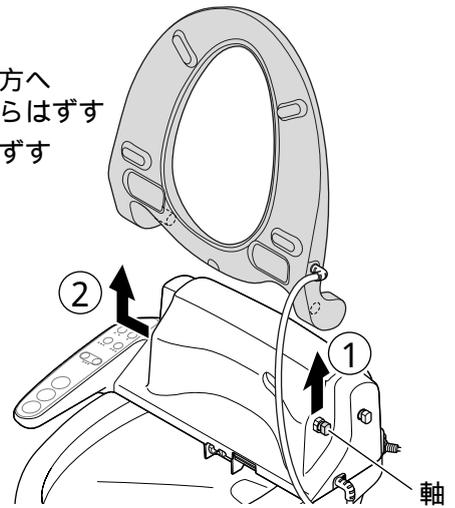
ふた

- ① ふたを広げる
- ② ふたをはずす



便座

- ① 便座の右側を上方へ引き抜き、軸からはまず
- ② 便座の左側をはずす



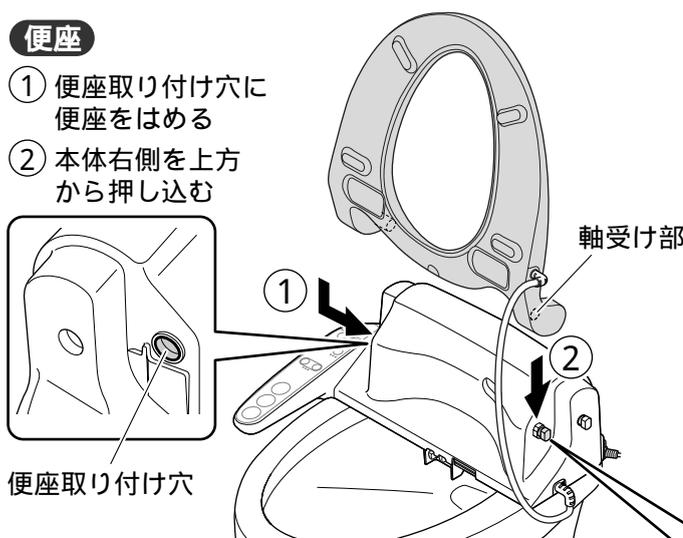
2 ふた・便座・本体をふく

3 便座とふたを取り付ける

便座コードがねじれたまま取り付けしないでください。
軸をベンチなどで無理に回転させないでください。

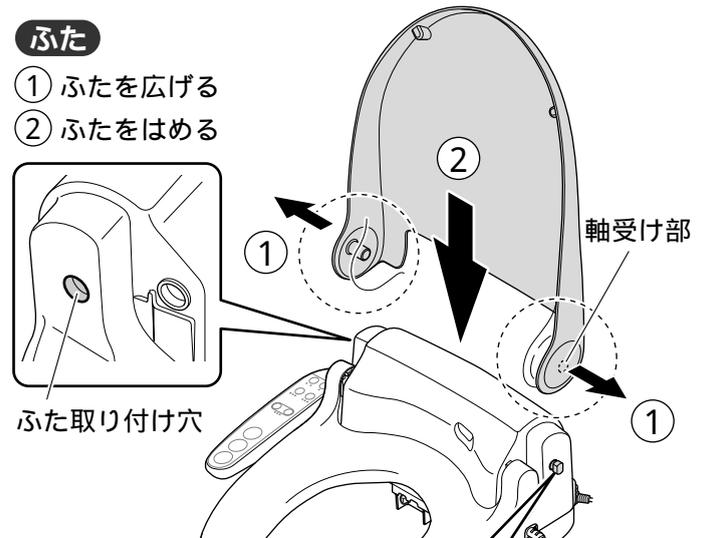
便座

- ① 便座取り付け穴に便座をはめる
- ② 本体右側を上方から押し込む



ふた

- ① ふたを広げる
- ② ふたをはめる



軸が斜めになった場合は、ふたや便座の軸受け部を使って軸を回転させ、垂直にしてから取り付けてください。

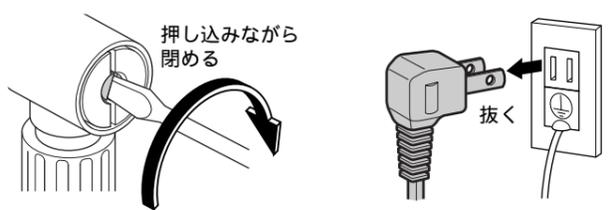
斜め 斜め 垂直

9 お手入れのしかた 月一回程度

本体裏面・便器のお手入れ

最初に 止水栓を閉め電源プラグを抜く

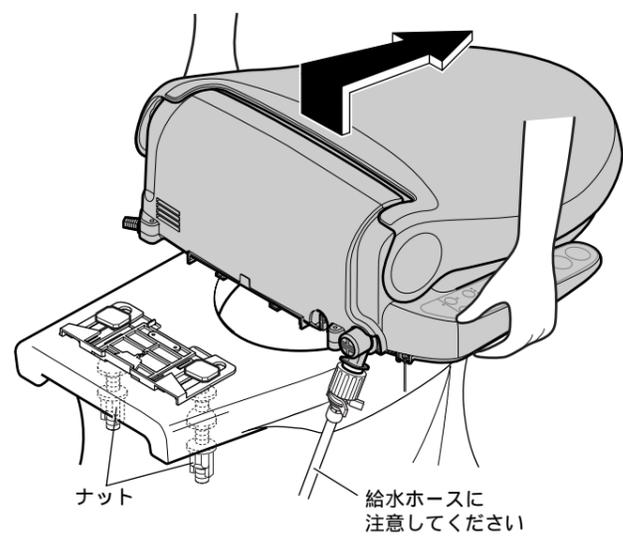
警告
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。



1 ホースクリップをはずす(14ページ参照)

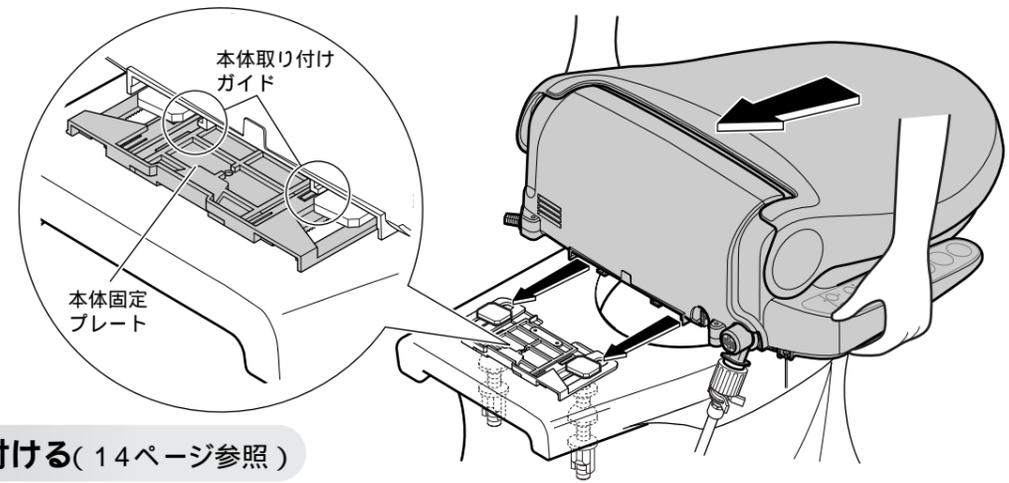
2 本体を持ち上げながら手前にずらし便器の上に置く

注意
本体着脱する前は必ず電源プラグを抜く
抜かないと感電やけがの原因になります。
本体着脱する前は必ず止水栓を確実に閉める
守らないと水もれの原因になります。
本体給水口や給水ホースに無理な力を加えない
守らないと破損による水もれの原因になります。
本体着脱時は、無理に力をかけない
けがをしたり、便器の排水管の水もれの原因になります。
本体を着脱しにくい場合は、無理に取りはずさず、(本体
固定プレートを固定している) ナットをゆるめては
ずす。本体プレートが破損する場合があります。



3 汚れを中性洗剤でふきとる

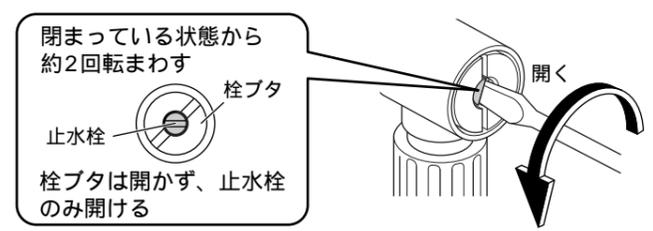
4 本体取り付けガイドを本体固定プレートに合わせ、奥に差し込む



5 ホースクリップを取り付ける(14ページ参照)

6 電源プラグを差し込み止水栓を開き水もれを確認する

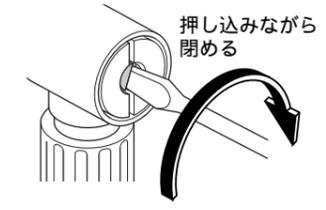
電源プラグを抜くと、温度調節や設定が
工場出荷時にもどります。



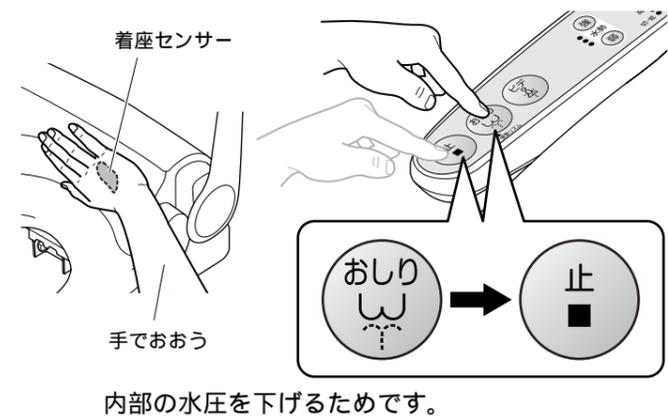
• ストレーナ(ゴミ取りフィルター)に水あかやゴミなどが詰ると、適正な性能が得られなくなります。
洗浄水の出が悪くなったときは、ストレーナのお手入れをしてください。

ストレーナのお手入れ

最初に 止水栓を閉める



1 着座センサを手でおおい(おしりマーク)を押し、
2~3秒後に(止マーク)を押す

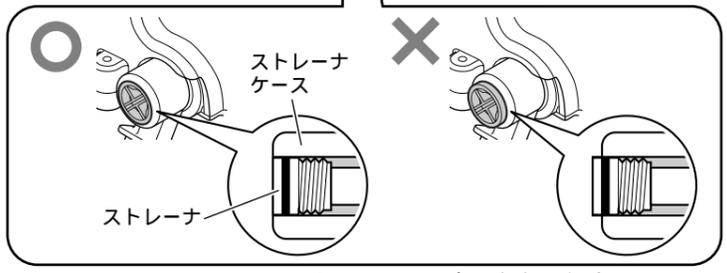
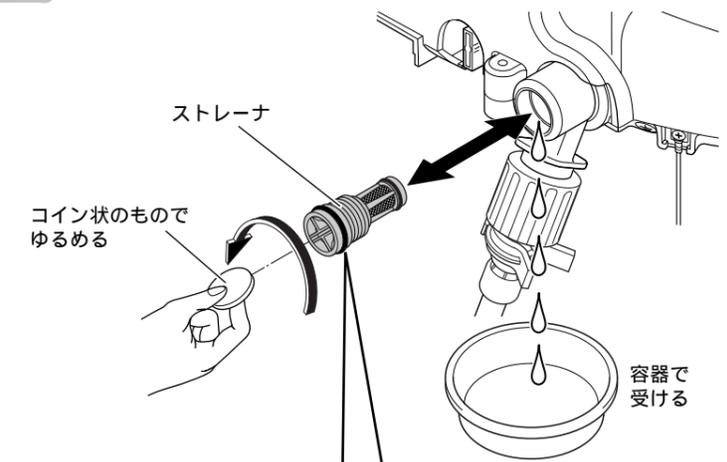


内部の水圧を下げるためです。

3 ストレーナを取り付ける

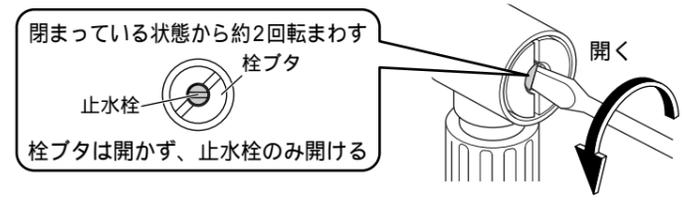
注意
• ネットを破らないでください。
• 黒いパッキンを傷つけたり、ゴミをはさまないようにしてください。(水もれの原因となります。)
• 締め付けすぎると、ストレーナが破損し、水もれのおそれがあります。
• 接続部のゆるみがないか必ず確認してください。

2 ストレーナを取りはずしブラシ等で水洗いする



ストレーナとストレーナケースの面が一致する程度に
(つきあたるまで)締めてください。

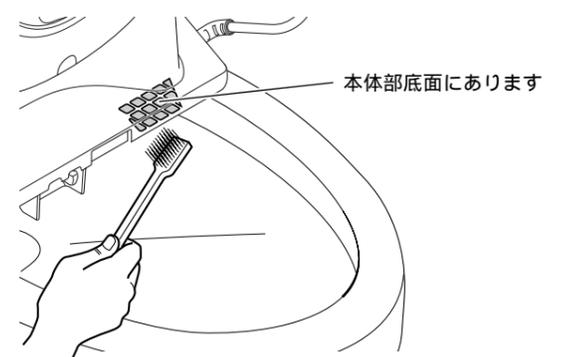
4 止水栓を開き水もれを確認する



脱臭吸込口のお手入れ(CH6312のみ)

• 乾いたブラシなどで綿ぼりやペーパー
くずなどを取り除いてください。

注意
• 脱臭吸込口が詰ると効果的な脱臭性能
が得られなくなります。
脱臭効果が弱くなったり、脱臭音が大き
くなったときは脱臭吸込口のお手入れを
してください。



月一回程度(その2)

洗浄ノズルのお手入れ

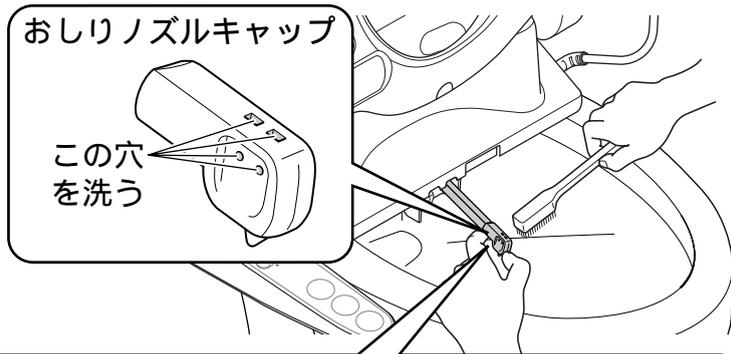
ノズルを元にもどすとき、水が出る場合がありますのでご注意ください。

ノズルを軽く引き出し先端のノズルキャップをはずしてブラシなどで洗う

- ノズルが目づまりしたときは先端のノズルキャップをはずして水洗いしてください。

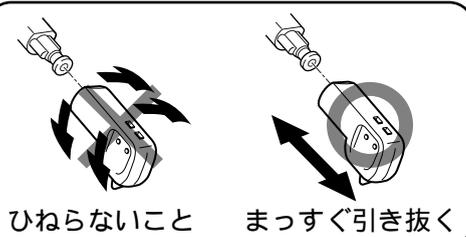
おしりノズルキャップ

この穴を洗う



注意

- ノズルの引き出し、またはノズルキャップを引き抜くときはまっすぐに行ってください。左右にひねったりすると破損の原因になります。



ひねらないこと

まっすぐ引き抜く

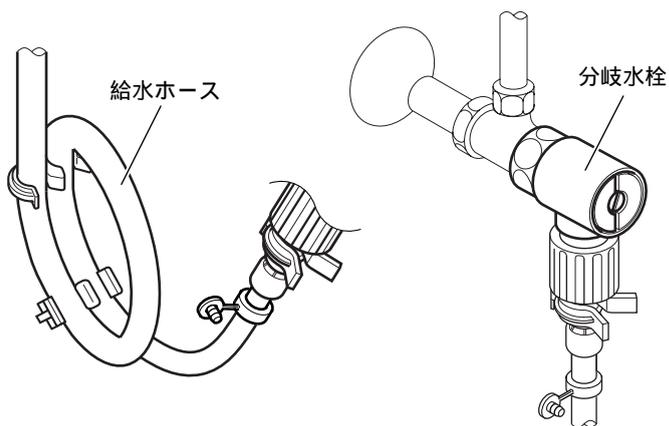
給水ホースと分岐水栓のお手入れ

柔らかい布で水ぶきしてください。

注意

給水ホースに力を加えたり、折り曲げたり、とがったもので傷をつけない
水もれの原因となります。

本体、給水ホース、ナットに中性洗剤以外の洗剤、薬品、芳香剤などをかけない
劣化による水もれの原因になります。

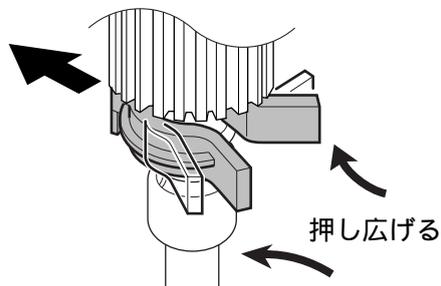


給水ホース

分岐水栓

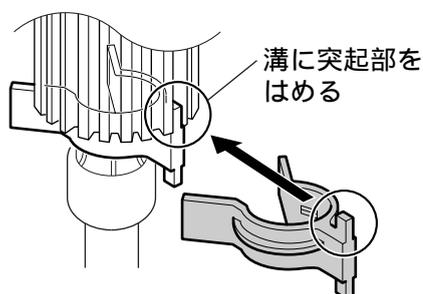
固定クリップのはずしかた、取り付けかた

はずしかた

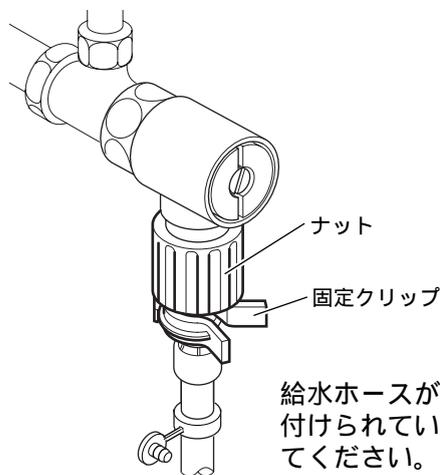


押し広げる

取り付けかた



溝に突起部をはめる



ナット

固定クリップ

給水ホースがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

注意

- 給水ホースを取り付けたあとや、ホースに力を加えたときなどは必ず接続部のゆるみがないか必ず確認してください。

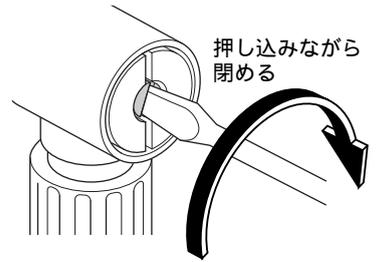
10

こんなときは 長期間使用しないとき

最初に 止水栓を閉める

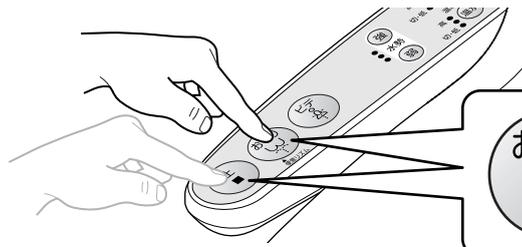
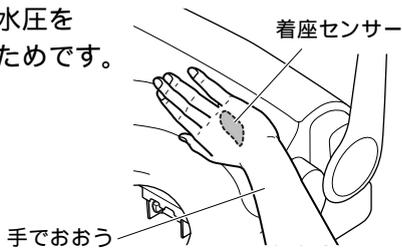
⚠️ 注意

長期間使用しないときは、本体の水を抜き、電源プラグを抜く
守らないと、水が腐敗して、皮膚が炎症などを起こすおそれがあります。

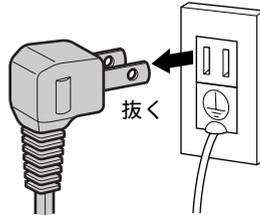


1 着座センサを手でおおい **おしり** を押し、2~3秒後に **止** を押す

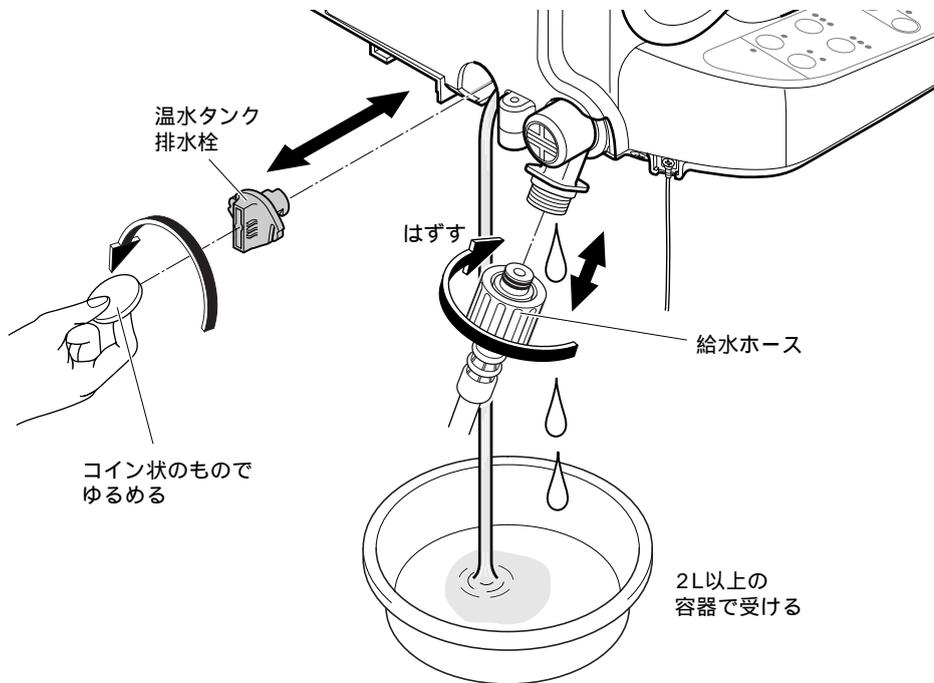
内部の水圧を下げるためです。



2 電源プラグを抜く



3 温水タンク排水栓、給水ホースを取りはずして本体と給水ホースに残っている水を抜く



4 温水タンク排水栓、給水ホースを元通りに取り付ける

再使用するときは水もれ確認をする

⚠️ 注意

給水ホースを締めすぎない
締め付けすぎると、給水ホースが破損し、水もれのおそれがあります。

11

こんなときは

凍結のおそれがあるとき

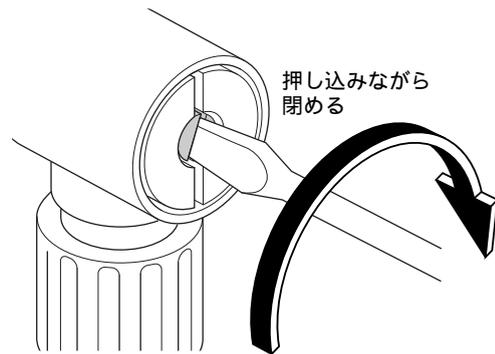
最初に 止水栓を閉める

⚠注意

凍結のおそれがあるときは、給水ホースに残っている水を抜き、電源を入れたままにしておく
凍結すると、配管や、本体内部が破損して水もれの原因になります。

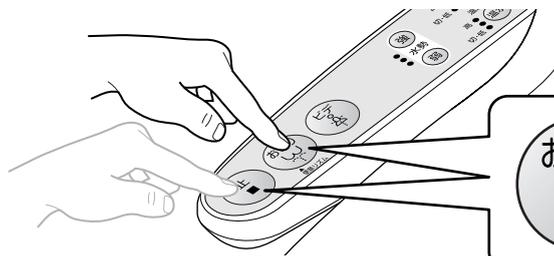
ご注意

- 電源プラグはコンセントから抜かないでください。
- 黒いパッキンを傷ついたり、ごみを挟まないようにしてください。（水もれの原因となります。）

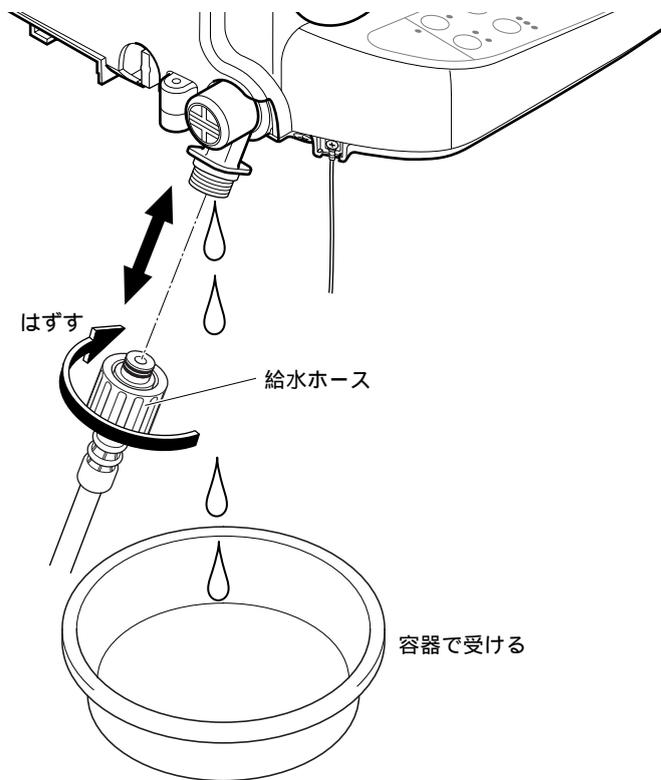


1 着座センサを手でおおい を押し、2～3秒後に を押す

内部の水圧を
下げるためです。



2 給水ホースを取りはずし本体と給水ホースに残っている水を抜く



3 給水ホースを元通りに取り付ける

再使用するときは水もれ確認をする

⚠注意

給水ホースを締めすぎない
締め付けすぎると、給水ホースが破損し、
水もれのおそれがあります。

12

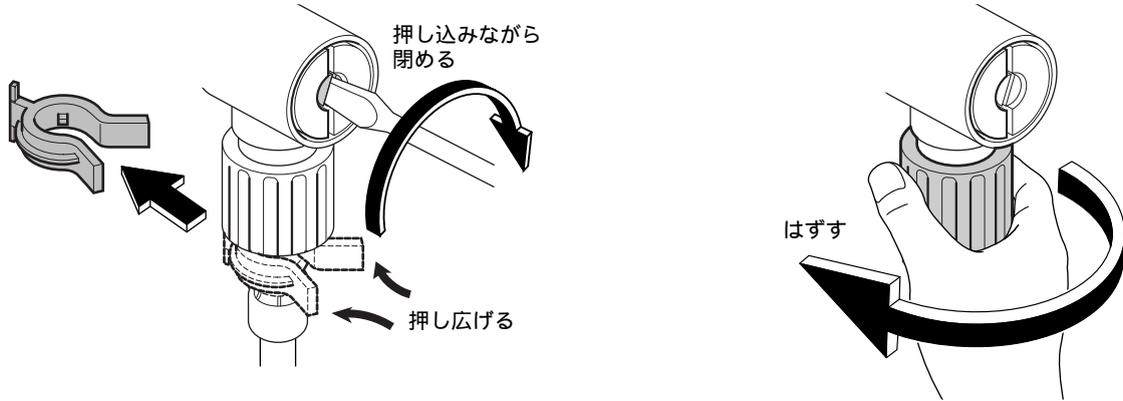
こんなときは

万一の破損、水もれのとき

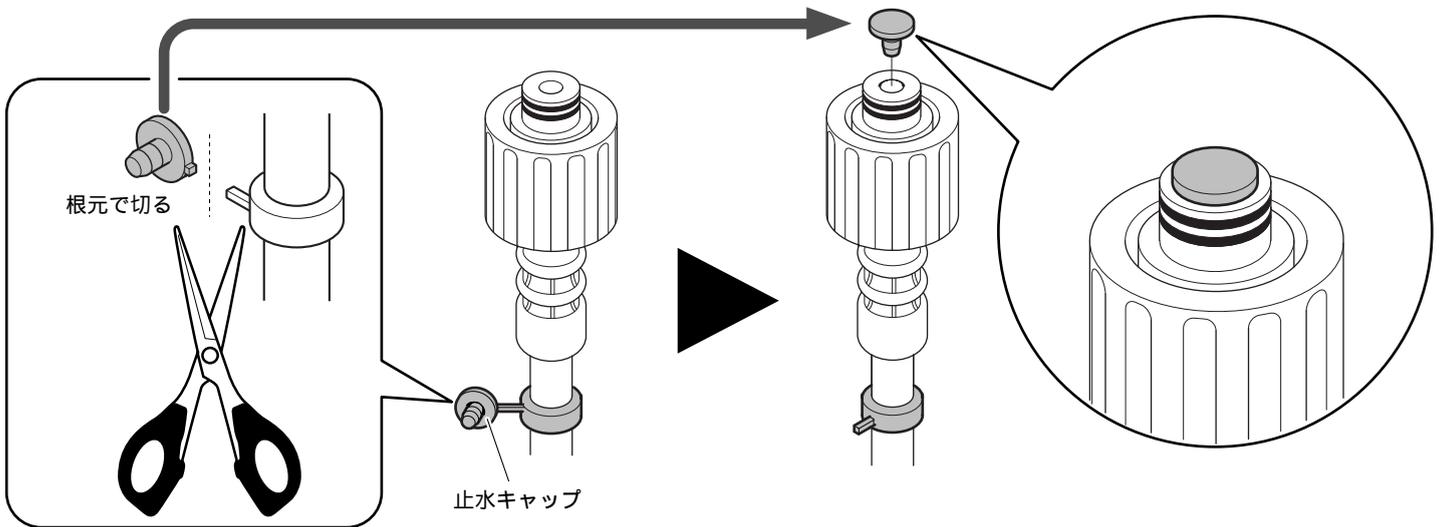
温水洗浄便座もしくは給水ホースより水もれの場合は、以下の処置を行い、その後、修理を依頼してください。
この処置は、温水洗浄便座への水を止め、便器だけに水を送るためのものです。
応急的に水もれを止め、トイレが使えるように（汚物排出ができるように）なります。

最初に **止水栓を閉め固定クリップをはずし、給水ホースナットを手でまわしてはずす**

固定クリップのはずしかた、取り付けかたは25ページの固定クリップのはずしかた、取り付けかたをご参照ください。



1 止水キャップで給水ホースにふたをする

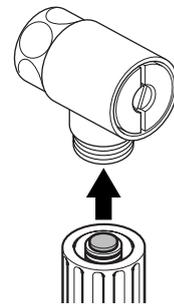


2 給水ホースを手で元通り取り付け固定クリップを取り付ける

再使用するときは水もれ確認をする

ご注意

- お手入れのあとや、ホースに力を加えたときなどは必ず接続部のゆるみがないか確認してください。



3 止水栓を開ける

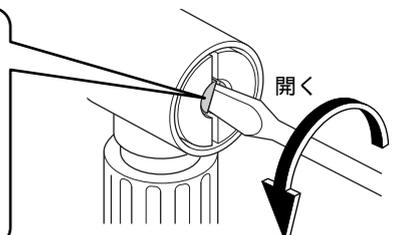
ご注意

- 止水栓を開けないと、ロータンク内に水が溜まらず、汚物を流すことができません。

閉まっている状態から約2回転まわす



栓ボタンは開かず、止水栓のみ開ける



こんなときは 故障かな? と思ったとき

修理を依頼される前に、下記をお読みください。

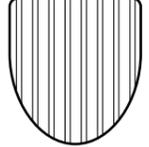
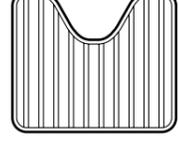
現象	確認項目	処置	
洗浄ノズルが出ない 洗浄水が出ない 洗浄水勢が弱い 洗浄水の出が悪くなった 洗浄ノズルが途中で止まる	止水栓を閉じていませんか	止水栓を開ける	15ページ
	給水ホースが折れていませんか	給水ホースの折れ曲がりをお直す	14ページ
	電源ランプが消えていませんか	電源プラグをコンセントに差し込む	15ページ
	温水ランプ「低」が点滅していませんか	 を押す(初期給水をする)	16ページ
	ストレーナにゴミが詰まっていますか	ストレーナを掃除する	24ページ
	ノズルが目づまりしていませんか	ノズルを掃除する	25ページ
	6時間切ランプまたは9時間切ランプが点灯していませんか	 を押す、切タイマーを解除する(切タイマー作動中は着座しても解除されません)	20ページ
	着座センサに衣服が密着していませんか	衣服を持ち上げ肌を検知するようにする	17ページ
	赤外線を反射しにくい衣服を着ていませんか		
洗浄まで時間がかかる	水路の切替をしているためで異常ではありません		
洗浄水がつめたい(ぬるい)	長時間洗浄(約70秒以上)をしていませんか	 を押す、約5分待つ(タンク内のお湯をあたためる)	19ページ
	2人以上連続で使用していませんか		
	温水温度設定が「切」または「低」になっていませんか	温度を調節する(季節によっては「低」でも冷たく感じる)ことがあります	19ページ
	節電中ランプが点灯していませんか	 を押す、解除する(節電中は温水が「低」になっています)	20ページ
	6時間切タイマーまたは9時間切タイマーを解除した後すぐに使用していませんか	約5分待つ(タンク内のお湯を温める)	19ページ
	洗浄 止をくり返していませんか		
洗浄後ノズル付近から水がもれている	ノズル内部の排水によるもので故障ではありません		
便座がつめたい(ぬるい)	便座温度設定が「切」または「低」になっていませんか	温度を調節する(季節によっては「低」でも冷たく感じる)ことがあります	19ページ
	節電中ランプが点灯していませんか	 を押す、解除する(節電中は温水が「低」になっています)	20ページ
	6時間切ランプまたは9時間切ランプが点灯していませんか	 を押す、切タイマーを解除する(切タイマー作動中は着座しても解除されません)	20ページ
便座が倒れる	便座コードがねじれていませんか	便座をはずし、コードのねじれをなくす	22ページ
	専用品以外の便座カバーを使っていますか	専用の便座カバーを使用する	30ページ
ふたが倒れる	ふたがロータンクに当たっていませんか	ナット、半球パッキンをゆるめ本体の位置を調節し、本体をしっかり固定する	13ページ
	専用品以外のふたカバーを使っていますか	専用のふたカバーを使用する	30ページ

現象	確認項目	処置	
脱臭が作動しない(CH6312のみ)	着座センサが45分以上はたらくとセンサ異常になり脱臭が止まります	1回便座からはなれると解除されます	
	着座センサがゴミや水滴などにより汚れていませんか	着座センサを掃除する	17ページ
	脱臭設定を解除していませんか	いったん電源プラグを抜き、再度コンセントに差し込む	20ページ
脱臭が止まらない(CH6312のみ)	ふたカバー・便座カバーが、着座センサをおおっていませんか	専用のふたカバー・便座カバーを正しく取り付ける	30ページ
	着座センサがゴミや水滴などにより汚れていませんか	着座センサを掃除する	17ページ
においが取れなくなった(CH6312のみ)	脱臭吸込口にほこりがついていませんか	脱臭吸込口のお手入れをする	24ページ
ふた・便座がうまく取り付かない	軸が斜めになっていませんか	軸を垂直に戻してから取り付ける	22ページ
ノズルの汚れがひどいノズルの滝洗浄が作動しない	ノズル滝洗浄機能を停止していませんか	いったん電源プラグを抜き、再度コンセントに差し込む	18ページ

上記の処置をしてもなおらないときはお買い上げの販売店にご相談ください。
ご自身での分解修理は故障や事故の原因となりますので、絶対におやめください。

別売品

商品機能に支障をきたす場合がありますので、必ずふたカバー、便座カバーは、専用品をお使いください。

ふたカバー CH79075-W(ホワイト) - P(ピンク) - A(ブルー)		便座カバー CH79073-W(ホワイト) - P(ピンク) - A(ブルー)		トイレマット CH79074-W(ホワイト) - P(ピンク) - A(ブルー)	
---	---	---	---	--	---

便座の抗菌

抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これは、(社)日本住宅設備システム協会の基準により評価したものであり、これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。	抗菌剤の種類	無機系(銀)
		抗菌性持続性	(社)日本住宅設備システム協会基準により確認
		安全性	(社)日本住宅設備システム協会基準により確認
		禁止事項	酸性・アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
抗菌加工部位	便座	取扱注意事項	抗菌力を発揮させるため、製品表面はよく掃除された状態に保ってください。



愛情点検

半年に1回次のようなことを点検してください。

電源コードを動かしたときに電気が入ったり、切れたりしませんか。
 本体・プラグ・電源コードや便座コードがさわれないほど熱くなっていませんか。
 コードにキズはありませんか。
 異常な臭い(焦げるような)や音が出ていませんか。
 触ると電気(ビリビリ)を感じることはありませんか。
 プラグ刃のガタツキがありませんか。

長年ご使用の電気器具の点検を!!

点検時にはプラグ・プラグの刃の汚れを落としてください。
 異常があれば故障や事故防止のため販売店にご相談ください。

定格・仕様 (本商品は水道直結方式です。また、防湿仕様ではありませんので、ユニットバス等では使用しないでください。)

品番	CH6311(脱臭機能なし) CH6312(脱臭機能付)		節電モード	節電スイッチ、6・9時間切スイッチ	
電源・最大消費電力	交流100V 50/60Hz 約410W		脱臭装置 (CH6312のみ)	脱臭剤	新触媒脱臭ハニカム 自動脱臭
待機時消費電力	約2.2W(制御回路分)			脱臭風量	約0.1m ³ /分
電源コード長さ	約1.0m		暖房便座	表面温度	4段階 切・低・中・高(室温~約40)
温水タンク	貯湯式 1.06L(省エネ法に基づくお湯の量)			便座ヒーター	57W
温水温度	4段階調節 切・低・中・高(水温~約40)			保護装置	温度ヒューズ
洗浄装置	吐出量	3段階調節(約0.5~0.9L/分)		開閉機構	ボタンレス機構
	シャワー方式	おしり 水圧伸縮式 気泡入りダブルスイングシャワー ビデ 水圧伸縮式 10穴ソフトシャワー		ノズル洗浄	ノズル使用前・後、立ち上がり後
温水ヒーター	350W		保護装置	漏電検知遮断回路内蔵、着座センサ	
保護装置	パイメタル、温度ヒューズ		使用水道圧範囲	69~735kPa(0.7~7.5kgf/cm ²)	
			本体寸法	高さ17.5×幅48.7×奥行き53.7cm	
			質量	約4.3kg(CH6311)/約4.4kg(CH6312)	

使用水道圧範囲以外では、十分な性能が得られない場合があります。
使用水道圧範囲が98kPa(1.0kgf/cm²)以下では洗浄水量が少なくなります。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は販売店でお渡しいたしますから「販売店名、購入日」など所定の事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間はご購入日より1年間です。但し、一般家庭用以外に使用された場合は保証期間内でも有料修理とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

当社はこのクリーンシャワレの補修用性能部品を製造打切り後7年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の29~30ページに従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず電源プラグをぬいてからお買い上げの販売店にご依頼ください。

保証期間中は

お買い上げの販売店まで、品名、品番、お買い上げ日、故障の状況(出来るだけ具体的に、ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。保証の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

地球の環境保護のため、本体を廃棄するときは、そのまま放置しないで各自治体の取り決めにしたがってください。

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

●転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は 「修理ご相談センター」

ナビダイヤル (全国共通番号)  **0570-081-365**
ハイ 365日
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間: 月~金 9:00~19:00 土・日・祝 9:00~17:00】

携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

札幌 ☎ 011-261-6401 大阪 ☎ 06-6906-1090
東京 ☎ 03-5392-7190 福岡 ☎ 092-622-0531
名古屋 ☎ 052-551-7900

商品・お取扱いなどのご相談は 「お客様ご相談センター」

ナビダイヤル (全国共通番号)  **0570-081-713**
ハイ ナイス
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間: 月~金 9:00~19:00 土・日・祝 9:00~17:00】

携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

松下電工お客様ご相談センター
☎ 06-6904-4382
FAX 06-6904-4471
〒571-8686 大阪府門真市門真1048

ご注意 所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0308

松下電工株式会社 リビング・ライフ事業部

〔〒571-8686〕大阪府門真市大字門真1048

jNo.2